

【2101】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
倫理学			講義	齋藤雅俊	1年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2					○	期末試験		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 55 無 授業内小テスト 授業内提出物 45 有 授業内活動 その他
	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	計 100	
	フィードバックの方法											
	コメントペーパー返却											
	アクティブラーニングの有無(内容) 無											
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 倫理思想史の歩みについての理解		≪汎用的技能≫ 前項目について口頭、文章等で説明			≪態度・志向性≫ 社会の形成者としての倫理観の涵養						
授業概要	倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題(価値の相対主義・絶対主義・カント倫理学・功利主義・ゲーム理論・性善説・性悪説・臓器移植等)にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反等...)を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的な問いについて各々が思索を深めていく。											
授業の到達目標	倫理的な考え方やものの見方を身につけるために、 ①倫理の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの倫理思想史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。											
単位認定の要件	期末レポート(55点) + コメントペーパー等授業内提出物(3点×15回分) = 60点以上											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	ガイダンス・倫理学とはどのような学問か？ 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	2	倫理判断の原理① 価値の相対主義と絶対主義 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	3	倫理判断の原理② 定言命法と仮言命法(カント倫理学) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	4	倫理判断の原理③ 功利主義・最大多数の最大幸福(ベンサム、J. S. ミル) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	5	自己利益の追求か他者との協力か？(囚人のジレンマ) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	6	個人の権利か社会の維持か？(自由主義と共同体主義) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	7	犯罪者の人権をめぐる問題(死刑、少年法等) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	8	性善説と性悪説 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	9	グローバル社会・移民をめぐる問題 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	10	管理社会・監視社会をめぐる問題 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	11	生存権・命の尊厳をめぐる問題(生命倫理) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	12	福祉をめぐる問題(自分の人生を優先するか親の介護を優先するか？) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	13	規範意識・ルールを守るということ(『星野君の二重打』より) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	14	世間への無知・無関心、「他人事」ということ 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
	15	他者・世界のために生きるということ(「全体の奉仕者」とは？) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)										
教科書・教材	特になし。											
参考書・参考文献等	パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じするためのファイルを用意すること。											
履修上の注意等	出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆、他人のコメントペーパーを参考にする等)の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする。また、生成AIを利用・参考にしてレポートを提出した場合も同様とする。											
実務経験との関連	実務経験の有無	無										

【2102】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科	
国文学			講義	澤村美千代	1年	後期	こども発達学科	
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》		《態度・志向性》			期末試験
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	自己管理能力 チームワーク	リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 40 無 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法
当該科目の キーワード	《知識・理解》		作品を取り巻く背景・文化・ものの考え方・人間の生き方等の理解					①授業で取り上げた内容について小テストを行い確認する。 ②学習レポートで提起された疑問点に対して、授業で取り上げて解説する。
	《汎用的技能》		作品の音読と解釈及び意見・感想のディスカッション					
	《態度・志向性》		古典作品の学術課題に対する自律的・継続的取り組み					
授業概要	文学は、社会経済に対する「実用性」や「生産性」の観点から、軽視される面がある。また、古文の「主語や目的語を大量に省略する」独特な言い回しや、漢字表記・歴史的仮名遣いに代表される「現代語との表記の違い」によって、敬遠されることが多い学問である。しかし「古文を通じて先人の「ものの考え方」や「社会の在り方」を学ぶことは、混とんとした現代を生き抜くための「意味」や「価値観」のヒントになるかもしれない。「古典は難しい、つまらない」という先入観にとらわれず、文学作品が生まれる背景や代表的な作品を読み味わうことで、われわれ日本人が創造してきた「文化」を再発見し、学生個々の「心の豊かさ」につなげるように古典と向き合いたい。						必要に応じてグループディスカッションを行い、「課題」に対して相互が探究し討論することで理解を深め合う。	
授業の到達目標	①日本文学の移り変わりを理解し、その時代に生きる先人たちの「背景」や「思い」を受けとめ、作品の価値や魅力を再確認する。 ②それぞれの作品の解釈を通じて、自分なりの「作品観」や「価値観」を持って、それを発表したり他者とディスカッションすることで、古文に対する教養を深める。 ③授業で扱った作品について、学習レポートにまとめてより深く理解することで、日本文化と現代社会との関わり合いについて再認識する。							
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。							
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容						
	1	ガイダンス「国文学概論」本講義の学修内容の確認と目的 ○本時のテーマ「国文学」の始まり～漢字の流入と万葉仮名の誕生における文学～ 予習:(分)60(大和朝廷による統一国家の樹立の背景を調べる。※大化の改新・壬申の乱) 復習:(分)60(上代の文学が誕生した状況と、その文学の特徴を捉える。)						
	2	『漢文学』杜甫と李白を中心に、漢文学が日本文学に与えた影響について考察を行う。 予習:(分)60(好きな漢詩を選び、和訳するとともに、感想をまとめておく。) 復習:(分)60(徒歩・李白・孟浩然が活躍した時代背景等をまとめる。また、日本への影響を複数の歌人の和歌から考察する。)						
	3	【上代の文学】『万葉集』○本時のテーマ(①概要②相聞歌・挽歌・雑歌から代表的歌を鑑賞※上代に生きた多くの祖先たちの「心の叫び」を聞く) 予習:(分)60(『万葉集』の概要を理解する。)*成立年代、作者、編纂者、内容、歌体等について調べておく。 復習:(分)60(『万葉集』の歌を鑑賞し、上代の人々が描いていた思いについて「心」を馳せる。)						
	4	【中古の文学】『枕草子1』○本時のテーマ(①『枕草子』概要②作者「清少納言」の人物像③中宮定子を巡る人間模様)※『枕草子』誕生の背景 予習:(分)60(『枕草子』の概要について調べる。中宮定子について調べる。)*『枕草子』が日本文学に与えた影響について調べておく。 復習:(分)60(関白「藤原道隆」の死から中宮白家が没落していく経緯について正しく認識する。)						
	5	【中古の文学】『枕草子2』○本時のテーマ(①跋文の解釈②作者「清少納言」と中宮「定子」の関係を正しく理解する。) 予習:(分)60(作者「清少納言」が『枕草子』を執筆する背景について正しく理解する。) 復習:(分)60(『枕草子』がどのような過程で執筆され、何のために流布されたかについて理解を深める。)						
	6	【中古の文学】『百人一首』(百人一首の撰者である藤原定家にスポットを当て、勅撰和歌集としての「百人一首」の存在価値を探る。) 予習:(分)60(「百人一首」の中から好きな1首を選び、口語訳と感想をまとめておく。) 復習:(分)60(藤原定家に生きた時代背景を確認するとともに、「ますらおぶりと」「たおやめ」の関係を理解する。)						
	7	【中古の文学】『源氏物語1』○本時のテーマ(①中古の文学の流れを知る②『源氏物語』概要を捉える) 予習:(分)60(奈良時代から平安時代の文学がどのように変遷してきたかを調べる。)*平安京遷都の背景を調べておく。 復習:(分)60(『源氏物語』の概要を理解する。)*中古の文学が貴族を中心としたもので、特に「女流文学」が台頭した理由を知る。						
	8	【中古の文学】『源氏物語2』○本時のテーマ(①藤原道長の摂関政治について理解する。②宮廷文学というスタイルが生まれた背景を理解する。) 予習:(分)60(「桐壺」「藤壺」「葵の上」「弘徽殿の女御」について、「光源氏」との関係を読み解く。) 復習:(分)60(「光源氏」の女性遍歴を通じて、「紫式部」が『源氏物語』に込めた思いを探究し理解する。)						
	9	【中古の文学】『源氏物語3』○本時のテーマ(①六条御息所②紫の上③朧月夜④明石の君※「光源氏」の女性遍歴を探る。) 予習:(分)60(「六条御息所」「紫の上」「朧月夜」「明石の君」について調べておく。)*「光源氏」との関係について調べておく。 復習:(分)60(『源氏物語』の中で描いた宮中の世界観を理解し、平安貴族の恋愛について理解を深める。)						
	10	【中世の文学】『小野小町』(小野小町の和歌から当時の貴族社会の在り方や漢学の知識の重要性等を知る。勅撰和歌集の意義について知る。) 予習:(分)60(小野小町の和歌の中から好きな一句を選び、口語訳し、感想をまとめておく。) 復習:(分)60(小野小町の晩年を取り扱った戯曲集三島由紀夫『卒塔婆小町』を読み、知識を広げる。)						
	11	【中世の文学】『伊勢物語』○本時のテーマ(「芥川」を鑑賞し、「無常観」を認識する。当時の藤原家の勢力についての認識を深める。) 予習:(分)60(在原業平の和歌から、好きな一句を選び、口語訳し感想をまとめておく。) 復習:(分)60(藤原家のその後の政治的動向を調べ、貴族社会が終焉に向かい、武士が台頭し始める背景を探る。)						
	12	【近世の文学】『戦国武将の言葉の力』(戦国三英傑「織田信長」「豊臣秀吉」「徳川家康」の残した作品を理解する。) 予習:(分)60(三英傑の中から一人を選び、その人生についてまとめておく。) 復習:(分)60(予習した以外の三英傑のその他の作品について調べ、その後にも与えた影響について考察する。)						
	13	【近世の文学】『小泉八雲』○本時のテーマ(①作者「小泉八雲」について理解する。②小泉八雲が後世に果たした役割を知る。) 予習:(分)60(小泉八雲「怪談」の概要を調べ、「怪異文学」について理解を深めておく。) 復習:(分)60(小泉八雲のその他の作品を読み、味わう。また、諸外国における八雲の評価についても調べ、理解を深める。)						
	14	【近代の文学】『太宰治』○本時のテーマ(太宰文学の特徴と、時代背景をよく理解する。太宰が次の時代へ与えた影響を知る。) 予習:(分)60(太宰の作品の中から一つを選び、感想をまとめ、フットワークに備えておく。) 復習:(分)60(「松尾芭蕉」が築いた「俳諧」の世界を鑑賞し、自らの感性を磨く。)						
	15	【上代の文学から近代の文学へ】○本時のテーマ(日本の文学の流れを理解する。)*漢文学が日本文学に与えた影響について改めて考える。 予習:(分)60(歴史的背景が「文学」にどのように影響し、変化をうんでいったのかについて調べる。) 復習:(分)60(「日本文学史」を理解し、「文学」が時代と共に変遷し、その時代にどのような影響を与えたかを認識する。)						
教科書・教材	特になし。毎時、個別にレジユメを配布する。予習時は各自で作品を探す。							
参考書・参考文献等	『日本古典文学大系』(岩波書店)監修:高木市之助他 『概観 日本文学史』(建邦社)編者:岡一男 『新潮日本古典集成』(新潮社)校注:福田秀一他 『図説日本の古典』(集英社)著者:郡司正勝他 『日本古典読本』(筑摩書房)編者:秋山虔他 『シグマ新日本文学史』(文芸堂)編者:秋山虔・三好行雄 『古典の長』(笠間書院)著者:松村睦他							
履修上の注意等	学習レポートあり(予習レポートをもとにフットワーク)。学習レポートの提出あり。(PowerPoint・資料及びweb等による検索が必要)。小グループでのディスカッション・発表あり。C1のみ児童文学と講義内容が被る講義もあるので、その講義に関してはレポート作成を課題とする。							
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校において国語科を専門に研究してきた経験を活かし、日本文学の移り変わりを理解し、さまざまな作品の解釈から自分なりの作品観や価値観を深める内容の科目である。					

【2103】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
日本国憲法			講義	小野昇平	1年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2	○	○	▲		期末試験 40 有					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		憲法の規定の内容							毎回提出されたミニレポートを踏まえて翌週に解説を行う。 アクティブラーニングの有無(内容) 有				
	≪汎用的技能≫		具体的事例を素材とした講義											
	≪態度・志向性≫		国民主権、基本的人権											
授業概要	憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例についての講義とミニレポートを通じて憲法の実在意義をしっかりと理解してもらおうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようにすることとします。													
授業の到達目標	① 憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ② 憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようにすること。													
単位認定の要件	①②の観点からの評価の結果が60点以上。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	憲法とは何なのかを理解しよう 予習:「立憲主義」という言葉の意味を調べてくる。憲法の条文を音読しておく。(120分) 復習:授業で取り上げた憲法の条文をよく読んで中学校や高校の社会の教科書にどう書いてあるか見てみる(60分)												
	2	「私たちの」国と憲法:国会・内閣の役割はなんだろう? 予習:「権力分立」という言葉の意味を調べておく。権力が分立されていない国はどんな国か(実際あるのか)調べておく。(90分) 復習:国会と内閣、裁判所の役割についての憲法の条文を読み返して、それぞれの役割を復習する。(90分)												
	3	国民主権、選挙は何のためにあるのだろうか? 予習:前回の授業で提示された「選挙」について調べる。「国民主権」という言葉の意味を調べておく。(90分) 復習:選挙の投票率向上のための取り組みについて調べる(90分)												
	4	憲法9条と自衛隊、自衛権の問題 予習:自衛隊がどのような歴史をたどって作られたのかを調べてくる。(90分) 復習:自民党による憲法9条の改正案を見て、授業内容を踏まえて自分の考え(賛成・反対)をまとめる。(90分)												
	5	憲法9条と自衛隊の海外派兵問題 予習:自衛隊が日本以外の地域でどのような活動をしているのか陸上自衛隊HPなどで調べておく。(90分) 復習:授業で見た映像の中に出てきたイラクと南スーダンにおける自衛隊の活動について詳しく調べる。(90分)												
	6	投票できない人もいる?—選挙権と憲法15条 予習:国政選挙で投票できる人、できない人について調べてくる。(90分) 復習:授業で扱った受刑者選挙権について、日本以外ではどうなっているか調べてみる。(90分)												
	7	性犯罪防止法事件とプライバシーの権利 予習:前回の授業で渡した事例について、憲法の何条が問題となるか考えてまとめる。(90分) 復習:日本以外の国で性犯罪者の再犯防止のためにどのような制度があるのか調べてみる。(90分)												
	8	一票の較差とは?—投票価値の平等と憲法14条 予習:「一票の較差」という言葉について調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習:「一票の較差」に関連する2022年と2023年の裁判についてのニュース記事を探しておく。(90分)												
	9	男女の不平等!?—夫婦同姓制度と憲法14条、24条 予習:どうして夫婦は名字を同じにしなければならないのか、その理由を考えてまとめる。(90分) 復習:授業で配布した参考資料(裁判例についての記事)をよく読んでおく。(90分)												
	10	同性婚が認められないのは憲法違反?—同性婚と憲法13条、14条、24条 予習:なぜ同性婚が認められていないのか、その理由を調べておく。同性婚についての自分の考えをまとめる。(90分) 復習:授業で配布した参考資料(裁判例についての記事)をよく読んでおく。(90分)												
	11	ピアノ伴奏をしたくありません!—思想の自由と憲法19条 予習:「思想良心の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(xWeb)で調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例以外に、思想良心の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)												
	12	剣道は履修できないのですが…—信教の自由と憲法20条 予習:「信教の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(xWeb)で調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例以外に、信教の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)												
	13	犯罪者が出ている映画は上映しちゃダメ?—表現の自由と憲法21条 予習:「表現の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(xWeb)で調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例以外に、表現の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)												
	14	教育は誰のため?何のため?—教育を受ける権利と憲法26条 予習:「全国学力・学習状況調査」とはどのようなものか、何のための調査かを調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例のほかに、「教育を受ける権利」が問題とされた事件を調べて概要をまとめる。(90分)												
	15	まとも一価値問題の調整原理としての憲法 予習:前回の授業で配布した資料をよく読んで概要を説明できるようにしておく。「アラブの春」という言葉について調べておく。(90分) 復習:これまでの授業で扱ったいくつかの事例について、憲法がどのように問題になるかを復習しておく。(90分)												
教科書・教材	特になし。													
参考書・参考文献等	初回の講義で紹介する													
履修上の注意等	積極的に質問をするなど、自ら学ぶ姿勢をとること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

【2105】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
経済学			講義	兼平拓道	1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2					期末試験 70 有							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、適切な課題を解決する能力》	期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト
当該科目の キーワード	《知識・理解》		マーケットメカニズム 金融システム								授業内提出物は各講義終了後に回収し評価した上で次回の講義時にフィードバックする。					
	《汎用的技能》		ケーススタディ 経済実践力								アクティブラーニングの有無(内容) 無					
	《態度・志向性》		マネープランニング													
授業概要	私たちが取り巻く経済環境は時々刻々と変化している。そこで、この講義では「いま、何が起っているのか」をテーマに学習を進める。経済学の基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などをケーススタディによりわかりやすく解説する。															
授業の到達目標	経済学の基本的知識を使って、経済社会システムのダイナミックな変容を読み解き、将来への見通しを的確に立てられる能力を身に付ける。グローバル経済の大きな潮流が家庭生活にどのような影響を与えているのかを分析し、ライフステージにおけるマネープランを設計できる経済実践力を習得する。総仕上げとして国際情勢の変容に伴う日本経済の将来を展望できる応用力を養成する。															
単位認定の要件	評価の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	経済学とは何か～経済学が、日常生活にどのように関わってくるのかについて考える。 予習:(90分)身の周りの経済を考える。 復習:(90分)メディアで経済ニュースを確認する。														
	2	モノの値段はどう決まるのか～経済的基礎条件の分析に必要な、マーケットメカニズムを学ぶ。 予習:(90分)身の回りで、毎日、値段が変化している消費財を探す。 復習:(90分) 価格変動のメカニズムを復習する。														
	3	好況や不況はどう決まるのか～インフレとデフレの仕組みを学びそれぞれのメリットとデメリットを理解する。 予習:(90分)身の回りで値段が上がっている消費財を調べる。 復習:(90分) 家庭でのインフレ対策を考える。														
	4	景気変動はなぜ生じるのか～戦後の経済史を振り返りながら、景気循環の仕組みについて学ぶ。 予習:(90分)戦後の代表的な好景気を調べる。 復習:(90分) 今が、景気循環ではどのあたりにいるのかを考える。														
	5	金融とは何か～金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。 予習:(90分)企業はなぜ資金が必要であるかを調べる。 復習:(90分) 市中銀行のホームページを見て銀行の業務内容を再確認する。														
	6	金利はどう決まるのか～金利決定メカニズムを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向を分析する。 予習:(90分)金利にはどんな種類があるのかを調べる。 復習:(90分) 金利が1%上昇すると返済負担がどのくらい増えるのかをシミュレーションする。														
	7	日銀は何をしているのか～日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。 予習:(90分)日本銀行のホームページを見て、業務内容などを調べる。 復習:(90分) ゼロ金利政策のニュースを調べる。														
	8	バブル経済とは何か～バブル経済の発生と崩壊のメカニズムについて学ぶ。 予習:(90分)バブル経済のニュース報道を調べる。 復習:(90分) バブル崩壊で失敗した企業事例を調べる。														
	9	株の仕組みはどうなっているのか～株式投資のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。 予習:(90分)東いど会社の起源を調べる。 復習:(90分) 上場企業を1社ピックアップして、1か月間の値動きのグラフを作成しリスクとリターンを確認する。														
	10	為替とは何か～円高と円安の仕組みを学び、日常生活と関連づけて考える。 予習:(90分)円高と円安に関連する経済ニュースをピックアップする。 復習:(90分) 円安で恩恵を受ける企業と損失を受ける企業を調べる。														
	11	政府と経済とはどんな関係があるのか～政府の財政政策が日本経済の重要な調節機能となっていることを学ぶ。 予習:(90分)公共投資が私たちの生活に与える影響を調べる。 復習:(90分) 財政赤字の削減策を考察する。														
	12	日本の財政と年金はどうなっているのか～日本の財政危機と年金危機について学ぶ。 予習:(90分)日本の直近の予算を調べる。 復習:(90分) 財政赤字の削減策を考察する。														
	13	家計とは何か～ライフステージにおけるマネープランを設計する方法を学ぶ。 予習:(90分)ライフステージに必要なマネーを調べる。 復習:(90分) マネープランニングにおけるポートフォリオを作成する。														
	14	国際経済の問題とは何か～国際情勢の変容と今後の日本経済を展望する。 予習:(90分)ロシアのウクライナ侵攻後の国際情勢をニュースで調べる。 復習:(90分) 直近のエネルギー価格の高騰などを世界各国ごとにまとめる。														
	15	まとめ～経済学の基本的知識と課題を総括する。 予習:(90分)経済学で学んだことをノートなどにまとめる。 復習:(90分) 経済学で学んだ感想や意見をノートなどにまとめる。														
教科書・教材	特になし															
参考書・参考文献等	『日本経済新聞』(日本経済新聞社)『週刊東洋経済』(東洋経済新報社)『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社)『週刊エコノミスト』(毎日新聞社)『Harvard Business Review』(ハーバードビジネスレビュー)『ダイヤモンド』(ダイヤモンド社)															
履修上の注意等	日頃から、新聞やテレビなどの経済ニュースに目を通していただくこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	金融紙の経済記者としての実務経験を活かし、経済環境の変化等について、基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などを学ぶ科目である。													

[2107] 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
社会学			講義	小笠原敦子	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30	2								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ ー 論理的 思考力 問題 解決力				≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会 的 責任 生涯 学 習力				《獲得した能力 を総合的に 利用し、 自ら設定し 適切な 課題へ適 し、その 課題を解決 する能力》
	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		政治、経済、学校・家庭・地域、歴史、宗教、環境などの基本的な知識の理解								個人ワーク、グループワークの内容を、 次回の授業ほかで取り上げる。
	≪汎用的技能≫		課題思考力・問題解決力、能動的学修姿勢、判断力、表現力								
	≪態度・志向性≫		課題に対する探究心・イデオロギー・平等性・協調性・学修に取り組む意欲								
授業概要	社会学の基本概念を学び、社会規範・格差・ジェンダー・バイアスなど現代社会の主要な課題を多角的に解説する。									「テーマ」「課題」に応じてグループ ディスカッションを行い、グループ ごとに発表する。 必要があればディベートを行う。	
授業の 到達目標	①社会学の基本概念を理解し、日常の出来事を社会的に説明できるようになる。 ②社会構造と個人の行動の関係を、多角的に考察する力を身につける。 ③格差・ジェンダー・バイアスなど現代社会の課題を、理論に基づいて分析できるようになる。										
単位認定の要件	到達目標①～⑤の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容									
	1	オリエンテーション、大学で学ぶことの社会的意義と責任 予習:(90分)シラバスを読み全体を理解する。 復習:(90分)授業の内容を踏まえ、大学で学ぶ意義について考えをまとめる。									
	2	生活・職業観と社会的責任 予習:(90分)「職業」と「社会的責任」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、生活する上での「社会的責任とは何か」について考えをまとめる。									
	3	産業と社会構造 予習:(90分)「産業と社会」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、産業構造の変化が生活に与える影響を考える。									
	4	集団の成立 予習:(90分)「集団の成立」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、役割・規範・関係性などの観点から「自分が所属する集団」について、特徴をまとめる。									
	5	社会課題の変遷 予習:(90分)「社会課題の変遷」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、現代の社会課題を1つ選んで自分の意見をまとめる。									
	6	権利と義務 予習:(90分)「権利と義務」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、権利と義務のバランスについて考える。									
	7	格差社会 予習:(90分)「格差社会」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、「格差の多面性」を整理する。									
	8	著名な社会学者の主張 予習:(90分) 2人の社会学者について、名前と主張をまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、印象に残った主張を1つ挙げる。									
	9	社会規範、意識と無意識 予習:(90分) 社会規範について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、自分が無意識に従っている規範を考える。									
	10	社会規範～遵守と逸脱 予習:(90分)「社会規範は守るべきか」について考えをまとめる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、逸脱行動の背景について考える。									
	11	職業、スポーツとジェンダー 予習:(90分)「ジェンダー」とは何か調べる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、ジェンダーが職業やスポーツに与える影響を考える。									
	12	社会とジェンダー 予習:(90分)「性的マイノリティ」について調べる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、ジェンダー平等に必要な視点を考える。									
	13	アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)を越えて 予習:(90分) 社会に存在する「バイアス」について調べる。 復習:(90分) 授業の内容を踏まえ、自分が持っているバイアスについて考える。									
	14	「地方女子たちの選択」を読んで 予習:(90分)「地方女子たちの選択」を読んで、自分の考えを800字程度にまとめる。 復習:(90分) 他者の人の感想と自分の意見の一致点と相違点について整理する。									
	15	これからの社会を展望する 予習:(90分)これまでの授業を踏まえ、「より良い社会」について自分の考えをまとめる。 復習:(90分)これまでの授業を踏まえ、将来の社会に必要な視点をまとめる。									
教科書・教材	特になし										
参考書・ 参考文献等	社会学をつかむ(有斐閣)西澤晃彦・渋谷望 一 図書館に所蔵 地方女子達の選択(桂書房)上野千鶴子、山内マリコ 一 購入を推奨										
履修上の 注意等	・原則、紙での資料配布はしない。予めPDFをClassroomにアップする。 ・PCを持参すること。										
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無									

【2108】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
心理学			講義	小林琢哉	1年	前期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
2	15	30		2					期末試験 70 有										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、その課題を解決する能力》	期末レポート									
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
	○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	授業内提出物 30 有	授業内活動		
																計 100			
																フィードバックの方法			
当該科目の キーワード	《知識・理解》		心理学に関する基礎的知識の理解							授業内提出物にコメントを添付して返却する。									
	《汎用的技能》		仮説検証のための方法論							アクティブラーニングの有無 (内容)			有						
	《態度・志向性》		心理学の知見を自らに当てはめて考える姿勢							心理実験の模擬体験とグループワーク									
授業概要	この授業では、心理学的なもの見方と、自己や社会に関する問題について新しい問いを立てて検証していくための方法論についての基礎知識を理解することを目的とする。認知、記憶、感情、人格、社会、文化などの様々な事象に関する心理学の研究の成果を学ぶ。社会と人間の行動については同調、偏見などの社会状況と人間の行動との関係について理解を深める。認知過程については、推論、認知バイアス、記憶といった認知心理学の主要な研究成果と脳科学や神経科学との接点に関する知見を紹介する。学ぶ。文化と人間の行動については、文化心理学に関する学びを通して、人間の思考と社会規範や文化がどのように関係しているかを検討する。一連の講義を通じて、心理学の知見とそれらを生み出す心理学的な見方・考え方の理解を目指す。																		
授業の 到達目標	① 社会、人格、認知に関する心理学的知見について説明できる。 ② 心理学の研究方法について、その基本的な考え方を理解し説明できる。 ③ 心理学の知見を実生活に当てはめて自己の行動を説明することができる。																		
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	ガイダンス 授業の内容と進め方 予習:(90分)心理学の主要な研究分野にはどんなものがあるかを調べておく。 復習:(90分)授業で取り上げた心理学の研究対象・分野についてまとめる。																	
	2	人格心理学 人格理論と測定方法 予習:(90分)心理学における人格の定義と主要な人格の理論について調べる。 復習:(90分)性格検査の理論と方法についてまとめる。																	
	3	社会心理学①社会的認知 予習:(90分)社会・他者を人がどのように理解しているか考えてみる。 復習:(90分)スキーマ・認知バイアスについて考察をまとめる。																	
	4	社会心理学②印象形成 予習:(90分)他者に対してどのようなことを手掛かりに印象を形成するかを考える。 復習:(90分)印象形成がどのように行われるかをまとめる。																	
	5	社会心理学③説得の過程と態度の変容 予習:(90分)他者を説得するにはどのような方法があるかを考える。 復習:(90分)説得の過程と影響要因についてまとめる。																	
	6	認知心理学①感覚・知覚 物・形の見え方 予習:(90分)錯視・多義図形について調べる。 復習:(90分)人が世界を見る仕組みと錯視の仕組みについて考察をまとめる。																	
	7	認知心理学②注意と意識 予習:(90分)選択的注意、変化の見落としについて調べておく。 復習:(90分)人が外界の対象に注意を向け認知する仕組みと過程について考察しまとめる。																	
	8	認知心理学③推論の過程 予習:(90分)演繹・帰納推論について復習する。 復習:(90分)人が推論を行う過程について考察する。																	
	9	認知心理学④思考と意思決定 予習:(90分)人が様々な問題を解決する際にどのように考えて意思決定をしているのかを考える。 復習:(90分)意思決定や問題解決に関する主要な心理学の理論について考察しまとめる。																	
	10	認知心理学⑤記憶の仕組み 予習:(90分)記憶の種類について調べておく。 復習:(90分)心理学における記憶の理論について考察し、効果的な記憶の方法について考えをまとめる。																	
	11	感情心理学 感情とコミュニケーション 予習:(90分)感情の発生に関する中枢起源説・抹消起源説について調べる。 復習:(90分)コミュニケーションにおける感情の役割について考察をまとめる。																	
	12	文化心理学 文化の中の自己 予習:(90分)文化や社会が人の考え方にどう影響するかを考え、調べる。 復習:(90分)文化と認知の関係について学習した内容をまとめる。																	
	13	脳の心理学 脳科学・神経科学との接点 予習:(90分)フィニアス・ゲイジの事例から、脳と人格、社会性の関係について考える。 復習:(90分)脳と認知機能の関連性について考察しまとめる。																	
	14	心理学研究の方法論 予習:(90分)心理学の研究はどのような方法によって行われているかを調べてみる。 復習:(90分)心理学が研究する内容・対象と研究手法の関係について考察しまとめる。																	
	15	心理学の歴史・実生活との接点 予習:(90分)心理学の研究と生活の接点について考える。 復習:(90分)心理学・教育心理学がどのような過程で成り立ってきたのか、学んだ内容をまとめる。																	
教科書・教材	特になし。授業時に資料を配布する。																		
参考書・ 参考文献等	藤田哲也(編) 絶対役立つ教養の心理学 ミネルヴァ書房																		
履修上の 注意等	理解を助けるために授業時間内に心理学の実験課題等を紹介することがあるので、遅刻しないようにすること。																		
実務経験との 関連	実務経験の有無	無																	

[2109] 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科		
地域活性化論A			講義	前田朝美・花田玲子	1年	前期	こども発達学科		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士	
2	15	30		2					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》
	○	—	○	○	○	○	○	○	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 地域の課題		≪汎用的技能≫ グループディスカッション、グループワーク			≪態度・志向性≫ 地域の発展、地域貢献			提出したレポートについて公表を行う
									アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	本授業は、弘前大、弘前学院大と共通開講されるものであり、3日間のメインテーマは「地域の課題を理解し、地域の発展を考える」である。具体的なテーマは、「地域の食とスポーツ」、「うるしでつながる共生社会」、「地方で生きる高齢者を、どう支えるのか ～ケア・生活・地域をつなぐ視点～」である。それぞれ、グループディスカッションなどを行う。							グループディスカッション、グループワーク	
授業の到達目標	①地域の状況を具体的に理解できるようになること ②課題の解決のために、学生としてできることは何かを考えることができるようになること ③各テーマに対して、自分の考えを述べるようになること								
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。								
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容							
	1	I うるしでつながる共生社会(主担当教員:弘前大学 高橋憲人) ①青森県におけるうるし資源の今昔							
	2	②障害福祉事業者発 きりんうるしプロジェクト							
	3	③つながる、味わう、森づくりの新展開							
	4	④うるしがつなぐ教育・福祉・文化のプロジェクト							
	5	⑤ディスカッション、発表							
	6	II 地域の食とスポーツ(主担当教員:柴田学園大学 前田朝美、花田玲子) ①食とスポーツ							
	7	②国スポ弁当の取り組み(ゲスト講師)							
	8	③地域の魅力と健康づくりを発信しよう～ナッジ理論の活用～							
	9	④地域の魅力と健康づくりを発信しよう～ポスター作成～							
	10	⑤発表、質疑							
	11	III 地方で生きる高齢者を、どう支えるのか ～ケア・生活・地域をつなぐ視点～(主担当教員:弘前学院大学 小野 綾) ①高齢者は、なぜ『支援を要する存在』になるのか(最初にアイスブレイク含む)							
	12	②支えるとは何をすることなのか							
	13	③現場から見たデイサービスの可能性(外部招聘講師:ケアサポートかがやき代表取締役 榎方和紀 氏)							
	14	④グループ演習:「もし自分たちが、地方で高齢者を支える仕組みをつくるなら」							
15	⑤発表と総評								
教科書・教材	特になし								
参考書・参考文献等	特になし								
履修上の注意等	開講日は8/19(火)～8/21(木)の3日間、各日も9時30分～18時20分(90分×5コマ×3日間) 場所:ヒロロ4階 市民文化交流館ホール 本学からの履修可能人数は10名程の予定であり、履修希望者多数の場合は、学科ごとの希望者数のバランス等を考慮して抽選を行う。抽選に漏れた学生は後期に開講される地域活性化論Bの受講を勧める。								
実務経験との関連	実務経験の有無	有	主担当(工藤)は、保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。						

【2110】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
地域活性化論B			講義	小笠原敦子、小沼奈緒美、安川由貴子、吉田裕美子	1年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2												
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末試験							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	70
当該科目のキーワード	《知識・理解》		青森県・弘前市および周辺の地域的課題									グループでの発表に対しては、その場でコメントをする。レポートについても総括をする。				
	《汎用的技能》		地域課題の解決										アクティブラーニングの有無(内容)	有		
	《態度・志向性》		グループワーク													
授業概要	地域に根差した大学の学生として、自らが住む地域の現在、未来を考えることは不可欠である。この講義では、弘前市職員の方などをゲストに迎え、地域活性化のための様々な取り組みについて学び、その上で、グループワーク、グループディスカッションを通じ、若者ができることは何かについて自分たちで考え、調べ、まとめ、発表する。												グループワーク&ディスカッション、プレゼンテーション			
授業の到達目標	①地域の状況を具体的に理解できるようになること ②課題の解決のために、学生としてできることは何かを考えることができるようになること ③各テーマに対して、自分で調べた上で、自分の考えを述べるができるようになること															
単位認定の要件	①②③の観点からの評価の合計が60%以上															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	授業の進め方の説明／現代社会の特徴 予習：青森県の課題を3つ調べ、国内外の状況と比較する。(90分) 復習：講義の内容を復習し、知識の定着を図る。(90分)														
	2	弘前市、青森市、八戸市の特徴－特に産業の観点から 予習：三市の特徴を、特に産業の観点からまとめる。(90分) 復習：講義の内容を復習し、知識の定着を図る。(90分)														
	3	青森県／弘前市の子育て支援策について学ぶ 予習：弘前市のホームページ等で、弘前市の子育て支援策について調べてくる。(90分) 復習：授業の内容を踏まえ、各自で更に調べて施策や課題について考える。(90分)														
	4	青森県／弘前市の子育て支援策を踏まえて、子育てしやすい環境づくりについてグループディスカッションと発表 予習：興味をもった弘前市の子育て支援策について調べ、子育てしやすい環境づくりについて考えてくる。(90分) 復習：授業の内容を踏まえ、子育てしやすい環境づくりに必要な視点について各自で再検討する。(90分)														
	5	青森県／ミニフィールドワーク 予習：自分の興味と結びつくテーマについて考えてくる。(90分) 復習：質問項目案の作成をする。(90分)														
	6	地域における役割 観察の視点：子どもの視点 予習：遊びの多様性を考え、子どもが主体的に遊べる環境について考えてくる。(90分) 復習：講義の内容を復習し、子どもの遊びについて再検討する。(90分)														
	7	青森県／弘前市の人々の健康と栄養①青森県と弘前市の健康課題 予習：第3次青森県健康増進計画から、健康課題を調べてくる。(90分) 復習：青森県の健康課題およびその解決策として紹介された取組等について内容をまとめておく。(90分)														
	8	青森県／弘前市の人々の健康と栄養②健康づくりのために必要なこと 予習：青森県や弘前市の、他の地域と比較して考えたときの「強み」を10個考えてくる。(90分) 復習：授業内で紹介された健康課題解決のための取り組みの良いところ、課題をまとめておく。(90分)														
	9	青森県／弘前市の人々の健康と栄養③健康課題解決のアイデア 予習：健康課題解決のための青森県以外における「食」に関連した取組にはどのようなものがあるか、5つ調べてくる。(90分) 復習：授業内で紹介された取組に自分が大学生として参加するならばどのように参加するかまとめておく。(90分)														
	10	産業と環境① 主に自然環境について 予習：自然環境の変化が産業におよぼす影響について3つ調べる。(90分) 復習：講義の内容を復習し、知識の定着を図る。(90分)														
	11	産業と環境② 主に社会環境、家族環境について 予習：社会環境、家族環境の変化が産業におよぼす影響について3つ調べる(90分) 復習：講義の内容を復習し、知識の定着を図る(90分)														
	12	六次産業化立案 6、10、11回の内容をもとに、六次産業化計画を作る。 グループディスカッションと発表 予習：六次産業化に有効な県産産材を5つ調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介された取組に自分が大学生として参加するならばどのようなか考える。(90分)														
	13	青森県／弘前市および周辺地域における製造業の現状 予習：弘前市および周辺地域における製造業について5つ調べてくる。その中には伝統産業を2つ含める。(90分) 復習：講義の内容を復習し、知識の定着を図る(90分)														
	14	青森県／弘前市および周辺地域における製造業の活性化と企業誘致 グループディスカッションと発表 予習：活性化策と誘致したい企業や産業についてまとめる。(90分) 復習：ほかのグループの発表を聞いて、自分たちのグループのアイデアとの違い、良い点、課題をまとめる。(90分)														
15	総括：地域活性化のために若者ができること 予習：農業・六次産業化、健康・製造業のそれぞれについて、青森県の課題を3つずつ整理してくる。(90分) 復習：課題解決のために大学生として自分ができること、将来やってみたいことを具体的にまとめる。(90分)															
教科書・教材	特になし															
参考書・参考文献等	必要に応じてその都度示す。															
履修上の注意等	履修人数の上限は50名。希望者多数の場合は、各学科の学生数、希望者数を考慮しつつ抽選を行うが、夏季休業期間中に集中講義形式で実施される地域活性化論Aの抽選に漏れた学生が優先されるグループワークが必須となるので、積極的にこれに取り組む意識を持つこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【2111】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
学園と地域を知る			講義	吉澤結子、葛西美樹、他	1年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許資格				単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択	フードコーディネーター	フードスペシャリスト	フードサイエンティスト	食の8次産業化プロデューサー(食PRO)									
2	15	30	2														
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				期末試験						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート	80	無
	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○
当該科目の キーワード	《知識・理解》		それぞれの話題について、その背景や意図を的確に理解するよう努める。									期末レポート					
	《汎用的技能》		「地域活性化」や「社会貢献のあり方」を論理的かつ多角的に考える力を養う。									授業内小テスト					
	《態度・志向性》		大学の学修に明確な目的意識を持って継続的に取組む力を養う。									授業内提出物	15	無			
授業概要	講義前半では大学での学びをより充実したものとするため、まず「学園を知る」ことを目的とし、柴田学園の「沿革」、創設者の「建学の精神」、地域に根ざして発展してきた経過を解説する。また、大学と高校の学びの違いやキャリア形成を話題とし、大学生生活を充実して過ごすヒントについて触れる。後半では、人口減等の課題に直面する地域に焦点を当て、毎時「テーマに沿って様々な分野で活躍される有識者をゲストスピーカーとして招き、各方面での取組みや活動状況について紹介して頂く。これらの講義内容をもとにこの地域活性化のために、自分たちができること、やりたいこと」を提案するグループワークを行い、地域活性化を自分ごととして考える機会とする。											授業内活動	5	無			
授業の 到達目標	「柴田学園」の沿革と教育理念、地域との関係性を理解し、これらを大学生としての学びと学生生活の設計に役立てることができる。大学生生活を過ごす弘前市や青森県の現状と課題を理解し、この地域で活躍されているゲストスピーカーの取組みや実践活動等を参考に、自分のこれからの社会への貢献や取組みについて考えることができる。「地域活性化」を自分ごととして考えることができる。											その他					
単位認定の要件	授業内提出物と期末レポートで総合的に評価する。											計	100				
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										フィードバックの方法					
	1	授業ガイダンス、および 1. 大学生生活を考える(1)大学での学びと柴田学園大学での4年間の過ごし方【吉澤】 予習:90分 本学の4年間の学びをどのように進めるかのプランをイメージしておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	2	2. 大学生生活を考える(2)学園を知る:柴田やす先生と「教育即生活」について【吉澤】 予習:90分「学校法人柴田学園」の沿革と柴田やす先生について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	3	3. 地域を知る(1)「夢を伝え 夢を届け 夢となる」(仮)【榎ブランデュー弘前FC 取締役社長 西澤雄貴】 予習:90分 榎ブランデュー弘前FCについて調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	4	4. 大学生生活を考える(3)柴田学園大学を知る:学科紹介【3学科長】 予習:90分 自分の所属学科以外の学科について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	5	5. 大学生生活を考える(4)キャリアデザイン:本学での学びを社会に活かす自分デザイン(仮)【葛西美樹】 予習:90分 自分のキャリア形成について考えておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	6	6. 地域を知る(2)青森県の郷土、現状と課題【青森県職員】予定 予習:90分 青森県の現状について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	7	7. 地域を知る(3)弘前市の郷土、現状と課題【弘前市職員】予定 予習:90分 弘前市の現状について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	8	8. 地域を知る(4)青森県の歴史【調整中】 予習:90分 青森県の歴史について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	9	9. 地域を知る(5)青森県の農業【調整中】 予習:90分 青森県の農業について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	10	10. 地域を知る(6)弘前市の商業【調整中】 予習:90分 弘前市の商業について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	11	11. 地域を知る(7)弘前市の観光産業【弘前市職員】(予定) 予習:90分 弘前市の観光産業について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	12	12. 地域を知る(8)青森県の伝統食【調整中】 予習:90分 青森県の伝統食について調べておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	13	13. 地域を知る(9)海外からの視点【調整中】 予習:90分 弘前市の国際性について考えておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	14	14. 地域を知る(10)弘前市の未来【調整中】、最終レポート課題の説明 予習:90分 弘前市の未来について考えておく。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。															
	15	15. 大学生生活を考える(5)大学生生活と地域を考えるグループワーク 予習:90分 グループワークを予定するので、指示に従って準備をする。 復習:90分 本日の話題を振り返って自分の感想や考えをノートにまとめて言語化しておく。最終レポートを完成し期日までに提出する。															
教科書・教材	特になし																
参考書・参考文献等	必要に応じて資料を配布する。																
履修上の注意等	多くの講義で学外のゲストスピーカーによる講義となる。講義中には特に私語は慎み、必要に応じてメモを取る。質問・意見があれば、毎講義終了後に提出する「アンケート」に記載すること。また、ゲストスピーカーから「レポート」が課題された場合は、期日までに必ず提出すること。連絡先:吉澤 y-yoshizawa@shibata.ac.jp																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

【2121】 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
有機化学			講義	奥野海良人	1年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2					期末試験	80	有				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》			
	多文化・異文化	文化・社会・自然	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力							期末レポート		無
													授業内小テスト	20	有
													授業内提出物		無
													授業内活動		無
													その他		無
													計	100	
フィードバックの方法															
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫ 化学式・理解		≪汎用的技能≫ 化学式・理解・異性体の理解									連絡または面談			
	≪態度・志向性≫ 生体成分・食品成分への適用											アクティブラーニングの有無 (内容)	無		
授業概要	健康栄養に関係する化学成分は無機質と有機物であるが、多くは有機物(有機化合物)である。我々が毎日食べている食品に含まれる栄養素を理解する上で有機化学は重要な学問である。具体的な栄養素についても触れていく。														
授業の 到達目標	様々な有機物の種類と化学構造および性質を体系的に理解する。														
単位認定の要件	筆記試験、授業内小テストの合計が60点以上														
授業計画 (予習、復習の 内容・時間含む)	回	内 容													
	1	原子と分子、分子式および組成式と示性式 予習:(60分) 水素からセレンまでの原子の電子配置について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 分子式から構造異性体のバリエーションを考えることができるようになる。													
	2	構造式と国際命名法 予習:(60分) 原子の構造、電気陰性度、極性、化学結合について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 化合物の国際命名法の基礎を理解し、最低限のルールを覚える。													
	3	アルカンの基礎と身の回りのアルカン 予習:(60分) 電子式と共有結合オクテット則について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) アルカンの燃焼を通してボイルシャルルの法則の利用法を確認する。													
	4	アルカンの構造と命名法 予習:(60分) 電子の軌道について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 各種アルカンの示性式から構造式が書け、国際命名法で命名できるようになっておく。													
	5	シクロアルカンの構造と命名法 予習:(60分) 炭素と水素からなる有機化合物について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) シクロアルカンの構造と立体配座異性体について理解できるようになる。													
	6	化合物群と官能基 予習:(60分) 有機化合物を構成する原子団(官能基)について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義で話す化合物グループと官能基の名前を覚える。													
	7	ハロアルカンの構造と命名法 予習:(60分) ハロアルカンという有機物について、構造と性質の特徴について調べておく。 復習:(90分) 各種ハロアルカンの示性式から構造式が書け、国際命名法で命名できるようになっておく。													
	8	アミンの構造と命名法 予習:(60分) 第1,2回の授業の配位、非共有電子対、水素結合について再度調べておく。 復習:(90分) アミンの異性体が理解できるようになる。各種アミンの示性式から構造式が書け、国際命名法で命名できるようになっておく。													
	9	アルコールの構造と命名法 予習:(60分) アルコールについて、第3, 4, 6回の授業のアルカンとヒドロキシ基について再度調べておく。 復習:(90分) アルコールの異性体が理解し、各種アルコールの示性式から構造式を書けて、命名できるようになっておく。													
	10	多価アルコールとエーテル結合 予習:(60分) 多価アルコールとはどのようなものか、また身の回りにどういったものがあるのか調べておく。 復習:(90分) 多価アルコールと、エーテルについて理解し、示性式から構造式を書けて命名できるようになっておく。													
	11	カルボニル化合物(アルデヒド・ケトン)の構造と命名法 予習:(60分) カルボニル化合物にはどういったものがあり、その中でアルデヒドとケトンの関係を明らかにしておく。 復習:(90分) アルデヒドやケトンについて理解し、示性式から構造式を書けて命名できるようになっておく。													
	12	カルボニル化合物(カルボン酸とエステル)の構造と命名法 予習:(60分) 第6回の講義の内容のカルボニル基、カルボン酸、エステルについて再度調べておく。 復習:(90分) カルボン酸やエステルについて理解し、示性式から構造式を書けて命名できるようになっておく。													
	13	不飽和有機化合物(アルケン)の構造と命名法 予習:(60分) 第6回の講義の内容でアルケンについて再度調べておく。 復習:(90分) アルケンについて理解し、示性式から構造式を書けて命名できるようになっておく。													
	14	芳香族炭化水素化合物 予習:(60分) 第6回の講義の内容で芳香族炭化水素化合物について再度調べておく。 復習:(90分) 芳香族炭化水素化合物の構造的特徴を理解し、構造式から命名、化合物名から構造式を書けるようにする。													
	15	複素環式芳香族化合物 予習:(60分) 身体の中に存在する複素環式芳香族化合物を調べておく。 復習:(90分) 複素環式芳香族化合物の構造式から命名、化合物名から構造式を書けるようにする。													
教科書・教材	講義配布プリント														
参考書・ 参考文献等	高校時代の化学基礎の教科書														
履修上の 注意等	本講義では主に化学構造を扱う。栄養素の構造を理解する上で重要になるため、復習をしっかりと行って知識を身につけてください。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無													

[2122] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
化学			講義	飯泉恭一	1年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2					期末試験 70 有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、適した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 10 有 その他
	○	—	○	○	—	○	○	○		○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		生活と化学							提出課題は、正解と解説を記して返却する。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		論理的思考力							
	≪態度・志向性≫		相手に伝える技術と態度							
授業概要	地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、PM2.5など環境問題が深刻化している。我々は、これらの問題の本質を理解し、効果的な対策を考案する必要に迫られている。また、化学(生物化学)研究の成果は、生命を遺伝子レベルで改変することを可能とした。今後、遺伝子組換えを利用した医療・医薬品・食料はますます増えてくると想定される。それらが持つリスクと利益は何か。これらを適切に判断するためには、化学や生化学に関する基礎知識が不可欠である。本講義ではそれらの習得を目標とする。ただし、知識偏重とならないように簡単な実験やプレゼンテーションなども実施し、思考力・判断力の育成も合わせて目指す。								グループディスカッションとプレゼンテーション	
授業の到達目標	1. 化学が我々の生活にどのように役立っているのかを理解する。 2. 化学が他の自然科学(生物科学・医学など)の発展にどのように貢献したのかを理解する。 3. プレゼンテーションを通して論理的思考力を身につける。									
単位認定の要件	到達目標の達成が60%以上									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	物質の構成 予習:0(分) 復習:180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。								
	2	原子構造と周期表 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	3	原子量、分子量、式量 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	4	物質の状態変化 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	5	酸と塩基 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	6	溶液の性質 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	7	酸化還元反応 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	8	光の性質 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	9	洗濯の化学 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	10	生体内の化学物質 一糖質 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	11	生体内の化学物質 一タンパク質 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	12	生体内の化学物質 一核酸 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	13	放射線 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。								
	14	プレゼンテーション(前半) 予習:60(分) 図書館で文献を読み、プレゼンテーションの準備をする。 復習:120(分) プレゼンテーションの内容を理解し、知識の定着をはかる。								
	15	プレゼンテーション(後半) 予習:60(分) 図書館で文献を読み、プレゼンテーションの準備をする。 復習:120(分) プレゼンテーションの内容を理解し、知識の定着をはかる。								
教科書・教材	配布資料を用意する。									
参考書・参考文献等	必要に応じて紹介する。									
履修上の注意等	授業中に簡単な実験を実施することがあるので、動きやすい服装での参加が望ましい。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

[2124] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
生命科学			講義	友田志郎	1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2				▲	期末試験	55	有			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	計
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫	細胞生物学、分子生物学、生態系、系統進化								小テストは授業時間内で正答を解説する。期末テストについても正答を示す。			
授業概要		現代生物学の諸分野の内、細胞、遺伝子、エネルギー、生態系、進化といった分野に重点を置いて、広く概説する。各分野についてパラパラに学ぶのではなく、互いの関連を踏まえながら生命現象全般について総合的に理解できるよう講義する。												
授業の到達目標		①生体分子、DNAの構造と役割など、生命現象を分子レベルで理解する。 ②細胞の構造、細胞内小器官、有性生殖と多様性の関わりなどを理解する。 ③生命とエネルギーの関わりを、その進化的な成り立ちも含めた視点から理解する。 ④地球環境と生態系の成り立ち、生物と生物の関わりを理解する。												
単位認定の要件		到達目標①～④の合計が60点以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容											
		1	生体物質。生体を構成する元素。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		2	糖質、脂質、アミノ酸とタンパク質。核酸 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		3	細胞の構造。細胞内小器官。細胞骨格。細胞周期と体細胞分裂。減数分裂と有性生殖 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		4	遺伝現象。遺伝子の正体。DNAの構造。DNAの複製 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		5	DNA情報の発現。RNAの役割と機能。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		6	タンパク質の合成。DNAの発現制御。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		7	シグナル伝達系。ステロイドホルモン。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		8	代謝。生物とエネルギー。酸素呼吸 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		9	TCA回路。電子伝達系とATP合成。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		10	光合成反応。地球の生命と酸素の役割。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		11	バクテリアのエネルギー代謝 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		12	地球環境と生態系の成り立ち。生態系と物質循環。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		13	生態系とエネルギー。生物相互の関係。競争、共生、捕食。生物群の個体数変動 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		14	動物の行動と適応戦略。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
		15	生物の種分化。進化と系統分類。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。											
教科書・教材		特になし												
参考書・参考文献等		特になし												
履修上の注意等		試験はノート・資料の持ち込みを前提として行うので、暗記は必要ないが、講義内容をしっかりと理解し、復習時にノートした内容を整理すること												
実務経験との関連		実務経験の有無	無											

[2125] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
数理科学			講義	友田志郎	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2					期末試験 40 有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 無 その他
	○	—	—	○	○	○	○	—		—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ AIの歴史と応用 機械学習の原理 深層学習 ニューラルネット 生成AI		≪汎用的技能≫ プログラミングの基礎						期末試験の正答を提示する。また、レポートの結果を配布し、知識の定着に資する。	
	≪態度・志向性≫								アクティブラーニングの有無(内容) 有	
	現代社会では様々な分野に於いてデジタル化とAI利用が不可逆的に進行している。この授業では、そうした社会状況に対応する為に必要な、数理科学・データサイエンス・AIに関する応用基礎レベルの知識を身につけることを目的とし、AIの歴史・現況と展望、機械学習と深層学習の基礎、及びその為に必要となる基礎的なプログラミング技術や数学の基礎知識について講義し、データ処理やプログラム作成などを含めた指導をする。									授業内でノートパソコンを使用して、計算プログラムを動作させるなどの作業を行う
授業の到達目標	① AI技術の歴史と応用分野、AI社会の今後の展望について理解する ② AI技術の基礎となる数学的基礎知識、プログラミングの基礎知識について理解する ③ 機械学習の基本について理解する ④ ニューラルネットと深層学習の基本について理解する									
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	AIの歴史と応用分野。AIと社会 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	2	情報セキュリティと暗号化技術。社会的認証基礎 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	3	プログラミング言語の歴史。Pythonの特徴 予習:(60分) 復習:(180分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	4	アルゴリズム。ユークリッドの互除法・挟み撃ち法による数値計算 予習:(60分) 復習:(180分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げ提出する。								
	5	データ表現、リストとツリー、データソートのアルゴリズム 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	6	乱数の利用。モンテカルロシミュレーション 予習:(60分) 復習:(180分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げ提出する。								
	7	行列とベクトル。Pythonを用いた行列計算 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	8	微分・積分と偏微分。パラメータ最適化。勾配降下法。確率的勾配降下法 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	9	機械学習。教師付き学習と教師なし学習。ニューラルネットの原理 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	10	単純パーセプトロンの学習 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	11	誤差逆伝播法によるニューラルネットの学習 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げ提出する。								
	12	勾配消失問題と深層学習 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	13	人間の知能の諸領域と様々なタイプのニューラルネット 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	14	生成AIとその利用。問題点 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
	15	AIの構築と運用。AI技術の将来展望 予習:(60分)教科書の該当部分を事前に読んである程度理解しておく。 復習:(120分)講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。								
教科書・教材	応用基礎としてのデータサイエンス 改訂第2版 AI×データ活用の実践(データサイエンス入門シリーズ) 北川源四郎/竹村彰通 編 講談社									
参考書・参考文献等	特になし									
履修上の注意等	授業内で各自がノートパソコンを使用する必要があるため、ノートパソコンを持参すること。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

[2126] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
統計学			講義	小林琢哉	1年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2	☆	☆	☆	期末試験	70	有						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に自ら設定し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	30
当該科目の キーワード	《知識・理解》		記述統計・推測統計の基礎知識									期末試験	70	有		
	《汎用的技能》		データ分析の基礎的技能									授業内提出物	30	有		
	《態度・志向性》		仮説検証型の思考									授業内活動				
授業概要	本授業の目的は、課題を発見し解決していくために必要なリサーチエッセンスの設定、適切なデータ解析方法の選択と実行・データ解析の実行による仮説検証ができるようになることである。授業においては、期待値など統計学の基礎となる確率の概念の理解から始め、正規分布などの統計分布について理解を深める。そのうえで、記述統計量とその意味について、サンプルデータをグラフによる視覚的意味・数値による要約する方法について学ぶ。記述統計に関する基礎的な知識の理解を活かして、標本と母集団の関係、信頼区間の推定・仮説検定といった各種のデータ分析について、調査データを例に学習していく。										計	100				
授業の到達目標	1.現代社会におけるデータサイエンス役割や活用方法を理解できる。 2.データサイエンスに活用されている統計学の基本原則を理解できる。 3.データに対して、各種の代表値や散布度の指標を算出できる。 4.データの種類や調査目的に応じて適切な検定方法を選択して実行し、結果を解釈できる。										フィードバックの方法					
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										授業内で実施する課題に正解と解説を付けて返却する。					
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									アクティブラーニングの有無 (内容)	有				
	1	統計学・データサイエンスと社会生活の関係、仮説検証・事象の予測・経営判断等におけるデータ分析の意味を理解する。 予習(90分)統計学・データサイエンスの活動事例を知り、様々な分野で必要とされる理由は何かを考える。 復習(90分)様々な事象について予測、効果の推定を行う際に何が必要かを考察しまとめる。														
	2	データ分析の設計と仮説検証の方法 分析目的の設定と、回帰・分類・クラスターリングなど目的に応じたデータ分析法、データの可視化・比較・構成方法、データの収集・加工・分割/統合の方法を理解する。 予習(90分)分析の目的設計/分析法について調べる。復習(90分)仮説検証の手続き(帰無仮説・対立仮説)を調べる。														
	3	データの集計方法 クロス集計・ヒストグラム・散布図によりデータの特異点・関連性・特異性・傾向を理解する。 予習(90分)データ集計の方法について調べておく。 復習(90分)それぞれのデータ集計法について、そこから何がわかるかをまとめる。														
	4	記述統計①尺度の水準と代表値を理解する。 予習(90分)名義尺度・順序尺度・間隔尺度・比率尺度の意味と集計方法を調べる。 復習(90分)4種類の尺度について、代表値(最頻値・中央値・平均値など)との関係を調べ、まとめる。														
	5	主キー・外部キー、リレーショナルデータベースの構造などデータベースの基礎を理解する。 予習(90分)データベースの構造について調べる。 復習(90分)サンプルデータに対して主キー・外部キーを適切に設定してデータベース化を行う。														
	6	目的に応じたデータの図表化・可視化方法(各種グラフ・箱ひげ図・ヒストグラムなど)を理解し、ビッグデータの可視化も行う。 予習(90分)目的とデータの種類に応じた図表化の方法を調べる。 復習(90分)図表化における適切な軸の選択、誇張や不適切な軸の選択がもたらす影響を把握する。														
	7	推測統計・統計的検定の基礎となる確率の基本概念(順列・組み合わせ、集合、条件付き確率、各種確率分布など)を理解する。 予習(90分)確率の基本的な考え方を調べておく。 復習(90分)期待値の計算方法、条件付き確率に関する課題を自力で解く。														
	8	記述統計①尺度の水準と代表値を理解する。 予習(90分)名義尺度・順序尺度・間隔尺度・比率尺度の意味と集計方法を調べる。 復習(90分)4種類の尺度について、代表値(最頻値・中央値・平均値など)との関係を調べ、まとめる。														
	9	記述統計②散布度の意味と算出方法・性質を理解する。 予習(90分)標本分散・不偏分散、標本標準偏差・標準時点の算出方法を調べ、データを使って実際に算出してみる。 復習(90分)散布度の性質と意味についてまとめる。														
	10	2変量の関連性を示す指標(相関係数、順序連関係数)について理解する。 予習(90分)2変量の関連性を示す指標について調べる。 復習(90分)関連係数、相関係数の算出方法を調べなおして課題を自力で解く。														
	11	推測統計 母集団の平均値を推測する方法について理解する。 予習(90分)点推定・区間推定について調べ、サンプルデータを使用して区間推定を行う。 復習(90分)95%信頼区間の意味、算出方法について調べ直す。														
	12	統計的検定① t検定、分散分析など量的変数の検定方法を理解する。 予習(90分)量的変数に関する検定方法にはどのようなものがあるか調べる。 復習(90分)各種検定方法に関する問題を自力で解く。														
	13	統計的検定② 質的変数の検定方法を理解する。 予習(90分)順序尺度・名義尺度変数の検定方法を調べる。 復習(90分)χ ² 乗検定の問題をExcelを使って解決する。														
	14	データ分析の基礎を理解し、分析目的に応じて回帰分析・重回帰分析・時系列分析などの手法を使用できるようになる。 予習(90分)回帰分析の仕組み、最小二乗法、時系列データの分析法について調べておく。 復習(90分)課題用のデータを使用し、分析目的に応じて各種データ分析から適切な方法を選び分析を実施する。														
	15	情報通信技術の進展に伴う大規模データが生成され、活用されていることを事例を通じて理解する。 予習(90分)ビッグデータとは何かを調べる。 復習(90分)ビッグデータの活用事例とデータガバナンスについてまとめる。														
教科書・教材	「応用基礎としてのデータサイエンス」北川源四郎/竹村彰通 編 講談社															
参考書・参考文献等	吉田寿夫 本当にわかりやすいごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 向後千春・富永敦子 統計学がわかる ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学															
履修上の注意等	表計算ソフトExcelを使って実際に統計量を算出するので、Excelの使い方に慣れておくこと。 課題のデータ・資料をGoogle Classroomで配布する(クラスコード"rtz6ryy")ので、履修希望者は登録しておいてください。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【2131】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
論文技術Ⅰ			演習	澤村美千代	1年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30	1									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用的に活用し、その課題を解決する能力》		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観
期末試験	期末レポート	40	無									
	授業内小テスト	30	有									
	授業内提出物	30	有									
	授業内活動											
	その他											
	計	100										
	フィードバックの方法											
当該科目の キーワード	《知識・理解》	序論・本論・結論										
	《汎用的技能》	根拠・意見・理由・事実										
	《態度・志向性》	疑問・反論										
授業概要	この科目は、大学におけるレポート・論文の書き方について、基礎的な知識と技能を身に付けることをめざす。レポート・論文は、小・中学校で書いてきたような感想文とは違い、与えられたテーマや課題に沿って、型を活用すれば、誰でも書くことができるものである。肝心なことは、模範になるレポート・小論文をしっかりと読むこと、自分で実際に書いてみることを、そして、推敲することである。こうした経験が単位の取得に欠かせないことを知ってほしい。											
授業の 到達目標	①感じたままに書く感想文と根拠をもとに主張を書くレポート・論文との違いを理解する。 ②構成やパラグラフの知識・技能を使い、相手に伝わる文章を書く。 ③資料収集と提示の仕方(引用・表記)、論文の要件(問い・答え・論証)がわかる。 ④学習した知識・技能を使い、様式や要件に沿ったレポート・論文を書き上げる。											
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	レポート・論文を書く準備をしよう(5つの構成要素、パラグラフの考え方1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	2	「引用」とは何かを知らう(やっではないといけない盗用、引用のルール・種類、パラグラフの考え方2) 予習:(20分)教科書の該当箇所等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと。										
	3	「参考文献のリスト」とは何かを知らう(参考文献のリストの書き方・確認事項、ナンバリング1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	4	「報告型学習レポート」「ブック(読書)レポート」「論文を知らう(基本形、ナンバリング2) 予習:(20分)教科書の該当箇所等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	5	レポート・論文に必要な考える方法を知る(発散型思考・収束型思考・思考スキルの基礎、ロジックツリー1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	6	読んで理解する(的確な情報を抜き出す・自分の言葉で言い換える・グラフや図を読み取る、ロジックツリー2) 予習:(20分)教科書の該当箇所等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	7	他者の主張を正しくつかむ(要約について知る・要約文の書き方を学ぶ、箇条書き 他) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと。										
	8	論理的な表現を知る①(事実と意見の区別・論理的な文章を書くための考え方1、ピラミッドストラクチャー1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	9	論理的な表現を知る②(事実と意見の区別・論理的な文章を書くための考え方2、ピラミッドストラクチャー2) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	10	「課題発見力」(自分の問題意識をもつ・論点を考える・論点を絞り探索方針を決める 他) 授業内小テスト① 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	11	「情報探査力」(情報を入手する・文献を入手する 他) 授業内小テスト② 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	12	「情報整理力」(文献を取捨選択する・文献を整理保存する 他) 授業内小テスト③ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	13	「課題考察力」(論文構成力)(考察を深める・論文の骨子をつくる 他) 授業内小テスト④ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	14	「文章構成力」(執筆する・章立てを確定し文章を推敲する 他) 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
	15	卒業論文に向けて(卒業論文とレポート・論文との違いを知る・卒業論文への準備をする 他) 授業内小テスト⑥ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと										
教科書・教材	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』(実教出版) レジュー											
参考書・ 参考文献等	石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』(ナツ社) 戸田山和久『新版論文の教室』(NHK) 鷲田小彌太『論文レポートはどう書くか』(日本実業社) 初年次教育テキスト編集委員会編『フレッシュマンセミナーテキスト第2版』(東京電気大学出版局) 結城浩『数学文章作法 基礎編』(筑摩書房) 沼崎一郎『はじめての研究レポート作成術』(岩波書店) 伊藤羊一『1分で話せ』(SB Creative)											
履修上の 注意等	教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。											
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、レポートや論文を書くための形式やルールを理解させ、論理的な文章の書き方の基礎を身に付けてもらう。									

【2132】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
論文技術Ⅱ			演習	澤村美千代	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30	1							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末試験	期末レポート 40 無 授業内小テスト 30 有 授業内提出物 30 有 授業内活動 その他	計 100	フィードバックの方法		
	○ — — ○ — — ○ ○ ○ — — — — ○ —	≪知識・理解≫ 論理・文脈	≪汎用的技能≫ 目的意識・相手意識・方法意識		≪態度・志向性≫ 疑問・反論	①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。	アクティブラーニングの有無(内容)	有		
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫	論理・文脈 目的意識・相手意識・方法意識 疑問・反論								
授業概要	大学4年間はもちろん、社会人になると一層求められるのが、文章を理解し、表現する力である。この科目は、日常的に書く機会が多い感想文や作文を含めた、さまざまな文章について、型を使えば誰でも書ける、という実感をもたせることをねらいとしている。相手によく伝わる文章表現の基礎知識を理解したり、縮約・要約技能に習熟したりする学習も行うことになる。自分の文章表現力をさらに磨いていく機会として積極的に取り組むことを期待している。								演習、個別・ペア・グループワーク学習等	
授業の到達目標	①相手によく伝わる文章表現の基礎知識を知り、適切に使うことができる。 ②文章の的確な読み書きに欠かせない技能である、縮約と要約ができる。 ③文章・論文を、型を使って相手に伝わるように書くことができる。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	【文章表現の基礎知識1】(箇条書き・原稿用紙の使い方・主観、客観表現 →実践練習) 予習:(20分)教科書の「ことばのドリル」Part1(12頁)、Part2(13頁)を事前にやっておくこと 復習:(40分)「箇条書き」「原稿用紙の使い方」「主観、客観表現」の知識・技能を使って、提示課題を解くこと								
	2	【文章表現の基礎知識2】(主題・粗筋・要点・要旨・趣旨・プロット →実践練習) 授業内小テスト① 予習:(20分)教科書の「ことばのドリル」Part8(23頁)を事前にやっておくこと 復習:(40分)「主題」「粗筋」「要点」「要旨」「趣旨」「プロット」の意味の違いを整理しておくこと								
	3	【文章表現の基礎知識3】(文脈・キーワード・形式段落・意味段落・文章構成 →実践練習) 授業内小テスト② 予習:(20分)教科書の「ことばのドリル」Part9(24頁)を事前にやっておくこと 復習:(40分)「文脈」「キーワード」「形式段落」「意味段落」「文章構成」の意味の違いを整理しておくこと								
	4	【文章をまとめる技能1】(縮約練習・新聞コラム →実践練習) 授業内小テスト③ 予習:(20分)「縮約」について調べ、200字程度に文章でまとめておくこと 復習:(40分)縮約の知識・技能を使って、課題として示された文章を縮約すること								
	5	【文章をまとめる技能2】(要約練習・新聞コラム →実践練習) 予習:(20分)「要約」について調べ、200字程度に文章でまとめておくこと 復習:(40分)要約の知識・技能を使って、課題として示された文章を要約すること								
	6	【文章をまとめる技能3】(要約練習:文学的文章 要約プラス意見・感想 →実践練習) 予習:(20分)事前に配布された文学的文章を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)要約の知識・技能を使って、課題として示された文学的文章を要約し、意見・感想を書くこと								
	7	【文章をまとめる技能4】(要約練習:説明的文章 要約プラス意見・感想 →実践練習) 予習:(20分)事前に配布された説明的文章を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)要約の知識・技能を使って、課題として示された説明的文章を要約し、意見・感想を書くこと								
	8	型で書く文章1(紹介文:「です・ます」「4段構成」「PREP法」 →実践練習) 予習:(20分)教科書の紹介文1(26-28頁)、紹介文2(32-34頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「です・ます」「4段構成」で、紹介文1(私の好きなこと・もの)か紹介文2(私の故郷)のいずれかの文章を書くこと								
	9	型で書く文章2(賛成・反対意見文1:「だ・である」「YES、BUT型」「5段構成」 →実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文1(38-40頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「だ・である」「YES、BUT型」「5段構成」で、身近な問題をテーマに文章を書くこと								
	10	型で書く文章3(賛成・反対意見文2:同上プラス「対策や提案」 →実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(44-49頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「だ・である」「YES、BUT型」「5段構成」+「対策や提案」で、「社会的な問題」をテーマに文章を書くこと								
	11	型で書く文章4(before/afterの文章1:①「時間軸中心の構成」②「5段構成」③「自分の変化」 →実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(53-60頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「時間軸中心の構成」「5段構成」で、○になる(を)する前と後など、自分の変化を書くこと								
	12	型で書く文章5(before/afterの文章2:上記①②プラス「社会の変化」「情報収集」 →実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(64-66頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「時間軸中心の構成」「5段構成」「情報収集」で、○になる(ができる)前と後など、社会の変化を書くこと								
	13	型で書く文章6(対立項と時間軸のある文章 →実践練習) 授業内小テスト④ 予習:(20分)教科書の対立項と時間軸のある文章(70-71頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)教科書の対立項と時間軸のある文章(72-74頁)のグラフと表などから自分が書くべき分野を選んでくること								
	14	型で書く文章7(対立項と時間軸のある文章の続き →実践練習) 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)教科書の対立項と時間軸のある文章(75頁)の文章設計図に必要な事項を記入しておくこと 復習:(40分)対立項と時間軸の両方を使って、実際に文章を書くこと								
	15	型で書く文章8(敬語の使い方:敬語の識別・実践のポイント/メール/手紙 他) 授業内小テスト⑥ 予習:(20分)教科書の敬語の識別(86頁)、敬語の実践(91-93頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)授業で学習した敬語の使い方に関するポイントを箇条書きで整理しておくこと								
教科書・教材	板東実子『大学生のための文章練習帳』第2版(国書刊行会) レジューメ									
参考書・参考文献等	西田みどり『接続語を使えば誰でも書ける』(知友社)プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』(実教出版)倉八順子『日本語の作文帳』(古今書院)桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』(実教出版)齋藤孝『新聞力』(筑摩書房)齋藤孝『読書力』(岩波新書)都築学『レポートの書き方』(有斐閣)									
履修上の注意等	教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、レポートや論文を書くための形式やルールを理解させ、論理的な文章の書き方になるの基礎を身に付けてもらう。							

【2133】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
情報リテラシー I			演習	奈良拓哉	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30	1				○	○		期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 50 有 授業内活動 50 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	○		○				○				
	-		-				-				
	-		-				-				
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 情報化社会		≪汎用的技能≫ 情報リテラシー、コンピュータリテラシー、データサイエンス				≪態度・志向性≫ 情報倫理				課題は提出時に評価のポイントを事前に示し、内容が不足する場合は再提出を求める。タッチタイプの技術習得の状況は、個別に管理する記録表で、随時確認できる。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	・社会人として必須となるPC活用能力について、自在に使いこなせるよう具体的に操作しながら実践的に学ぶ。 ・情報化社会の正と負の両面を意識して、データを正しく活用できる能力を身に付けるため、統計処理やプログラミング等にも触れながら、データサイエンスの基礎を学ぶ。									実習	
授業の到達目標	・PCやOSの仕組みを理解し、「Word、Excel、PowerPoint」等の操作を通して、PCを自在に操作することができる。 ・数値・データサイエンス・AI等に関心を持ち、データを適切に活用する基礎的な知識や技能が身についている。										
単位認定の要件	全ての課題・レポートが提出されていること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	授業の概要を説明し、PCの設定を確認する。タッチタイプについての解説を行う。 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う									
	2	Googleが提供するサービスの利用について説明する。Google Classroomやメールの使い方を練習する。 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う									
	3	社会におけるデータ・AIの活用について①(ビッグデータ、IoT、Society5.0 などについて解説する。) 予習:(45分) 身の回りにおけるIoTの活用事例を確認する 復習:(0分)									
	4	社会におけるデータ・AIの活用について②(様々な現場におけるデータ活用の事例、AI最新技術の活用例、生成AI などについて解説する。) 予習:(45分) 身の回りのAIを活用している事例を調べる 復習:(0分)									
	5	OSの概要を説明し、Windowsや日本語入カシステムの基本操作を練習する。インターネットを利用した情報検索の方法について確認する。 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う									
	6	Wordの概要を解説し、効率の良い文章入力の方法を確認する。ファイルの形式(docx、txt、pdf など)について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	7	情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	8	FONTや表操作、ページ設定、校閲・校正記号について解説し、その使い方を練習する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	9	オートコレクトの設定を説明し、インデント操作などの使い方を練習する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	10	ビジネス文章の構成について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	11	ビジネス文章を作成する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	12	図形や写真等の挿入、コピー&ペースト、ドラッグ&ドロップなどについて解説し、使い方を練習する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	13	Web上のデータを利用して書類作成の方法を練習する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	14	PowerPointの概要を説明し、基本的な操作方法を練習する。pptx形式のファイルや、ファイルの圧縮と展開について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
	15	ソフトウェアの動く仕組みを解説する。複数のPowerPointのデータファイルを連結するプログラムを作成する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する									
教科書・教材	特になし。										
参考書・参考文献等	随時参考資料を配布する。										
履修上の注意等	・毎回の授業時には、各自のPCを必ず持参すること。 ・PCの操作スキル向上のため、一日に一回はPCの電源を入れ、短時間であっても毎日使用するようにしてほしい。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2134】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
情報リテラシーⅡ			演習	奈良拓哉	1年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士							
1	15	30	1			○	○			期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 40 有 授業内提出物 40 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法					
	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—		—	○	○	○	○
	≪知識・理解≫ 情報化社会		≪汎用的技能≫ 情報リテラシー、コンピュータリテラシー、データサイエンス				≪態度・志向性≫ 情報倫理					課題は出題時に評価のポイントを示し、内容が不足する場合は再提出を求める。 タッチタイプの技術習得の状況は、個別に管理する記録表で随時確認できる。				
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 情報化社会		≪汎用的技能≫ 情報リテラシー、コンピュータリテラシー、データサイエンス				≪態度・志向性≫ 情報倫理				アクティブラーニングの有無(内容) 有					
授業概要	・「情報リテラシーⅠ」の学習を踏まえ、さらに高度なPC活用能力について実践的に学ぶ。 ・情報化社会において、データサイエンスの基礎となる統計処理やプログラミング等の知識や手法を実践的に学ぶ。									実習						
授業の到達目標	・「情報リテラシーⅠ」で学んだ「Word、Excel、PowerPoint」等の操作が、さらに円滑に行えるようになる。 ・数理・データサイエンス・AI等への理解が深まり、データを適切に活用する手法を身につけている。															
単位認定の要件	全ての課題・レポートが提出されていること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	授業や表計算ソフトの概要を解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	2	表操作やオートフィル、相対参照・絶対参照などについて解説する。 予習:(0分) オートフィルや相対参照・絶対参照の操作を確認する 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	3	データの集計について①(和、平均、順位などについて解説する。) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	4	データの種類や分散、ばらつきなどについて説明する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	5	棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、箱ひげ図などの表現方法について説明する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	6	ソフトウェア間におけるデータの相互利用について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	7	条件分岐について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	8	データの集計について②(vlookup関数[近似値検索])について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	9	データの集計について③(vlookup関数[完全一致検索])について解説する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	10	データの集計について④(並び替え、抽出などについて解説する。) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	11	データの集計について⑤(count関数、countif関数などについて解説する。) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	12	データの集計について⑥(ピボットテーブルなどについて解説する。)[小規模データ(数百~数千件)を集計・加工する] 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	13	データ・AI活用における留意事項(データ倫理、生成AIの留意事項などについて解説する。) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	14	プログラミングを理解するため、複数のExcelファイルからデータを抽出し集計するプログラムを作成する。 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する														
	15	授業の内容をまとめ、授業内小テストを実施する。 予習:(45分) 授業内小テストに備え、これまでの学習内容を確認する。 復習:(0分)														
教科書・教材	できるポケット 時短の王道 Excel関数全事典 改訂4版 2024/2021/2019/2016 & Microsoft 365対応															
参考書・参考文献等	随時参考資料を配布する。															
履修上の注意等	・毎回の授業時には、各自のPCを必ず持参すること。 ・PCの操作スキル向上のため、一日に一回はPCの電源を入れ、短時間であっても毎日使用するようにしてほしい。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

[2141] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
英語A I			演習	FitzpatrickChristopher	1年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30	1					○	期末試験	50	有		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	
	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—
当該科目のキーワード	《知識・理解》		英語の文法理解									質問等がある場合は申し出ること。内容に応じて適切な対応をする。	
	《汎用的技能》		英語の運用能力向上、英語の読み聞かせ										
	《態度・志向性》		出席の重要性、課題の管理、小テスト準備、ペアワーク、グループワーク										
授業概要	この授業では文法強化と語彙を向上させることにより、学生が必要としている英語の基本を身に着けることができるように構成されている。学生は教科書の他に、各自、渡されたファイルにプリントを保管、管理して、それに基づいた内容を出題する小テストと期末試験に備える。テキスト以外の活動として、小グループに分かれて一学期二回、英語と日本語で書かれた民話や童話をを使い紙芝居を製作し、発表する。										テキストやプリントの問題を解く際は定期的にペアワークで行う。学期に二回テキスト以外の活動として、英語と日本語の両方で書かれた民話や童話を紙芝居を製作し発表する。		
授業の到達目標	既習事項の文法を確認することによって次の段階に進む基礎固めをする。専門分野に関連した英語にも随時触れていくことにより学生の英語学習に対する興味を高める。												
単位認定の要件	全ての評価観点の合計が60点以上。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	授業の導入 現在形—be動詞、現在進行形 Units 1-4 予習:(15分)シラバスを読む テキストUnits 1-4 を読む 復習:(30分)現在進行形を復習											
	2	ファイル配布 現在形 一般動詞 Units 5-7 (プリント#1—Unit8配布) 予習:(15分)Units 5-7 を読む プリント#1を始める 復習:(30分)一般動詞の疑問文/否定文											
	3	現在進行形と現在形 Units 8-9 (プリント#2—Unit9配布) 予習:(15分)Units 8-9 を読む プリント#2を始める 復習:(30分)現在進行形と現在形の違いを復習											
	4	過去形 Units 10-13 (プリント#3—Unit14配布) 予習:(15分)Units 10-13 を読む プリント#3—Unit 14を始める 復習:(30分)過去形の疑問文と否定文を復習											
	5	小テスト#1 過去進行形と単純過去形 Units 14 (プリント#4—Unit15配布) 予習:(15分)Unit 14 プリント#4—Unit15を始める 復習:(30分)過去進行形を復習											
	6	現在完了形 Units 15-16 特別活動—民話や童話の読み聞かせ 予習:(15分)Units 15-16を読む 復習:(30分)経験を表す現在完了を復習											
	7	現在完了 Units 17-18 (プリント#5—Unit19配布) 予習:(15分)Unit 17-18 プリント#5—Unit19を始める 復習:(30分)継続を表す現在完了を復習											
	8	現在完了と単純過去形、受動態 Units 19-20 予習:(15分)Units 19-20 復習:(30分)受動態を復習											
	9	規則動詞と不規則動詞 Unit 23 予習:(15分) Unit 23 を読む付録2、3を読む (pg.230-231) 復習:(30分)											
	10	小テスト#2 未来時制 Units 24-26 予習:(15分)Units 24-26 を読む 復習:(30分)未来の表し方を復習											
	11	助動詞 Units 27-30 (プリント#6—Unit28配布) 特別活動—民話や童話の読み聞かせ 予習:(15分)Units 27-30を読む 復習:(30分)助動詞の違いを復習											
	12	好みを表現する Units 31-33 予習:(15分)Units 31-33 を読む 復習:(30分)様々な表現を復習											
	13	小テスト#3 ~がありますの構文 Units 35-36 予習:(15分)Units 35-36 を読む 復習:(30分)授業で学習した表現を復習											
	14	『それ』という意味を持たない“it” Unit 37 (プリント#7—Unit37配布) 予習:(15分)Unit 37 を始める プリント#7—Unit19を始める 復習:(30分)											
	15	期末試験に向けて総復習 Units 1-37 予習:(15分)Units 1-37 プリントの整理 質問をまとめる 復習:(30分)内容の確認											
教科書・教材	マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 日本語版												
参考書・参考文献等	テキストに関連したプリント												
履修上の注意等	出席を重視する												
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で、異なった年齢を対象に教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。英語論文やその他英語文献を編集/校正した経験も多数ある。2011年東日本大震災後、青森に避難した家庭の子供たちに英語を教えた経験を通して子供を教育するという領域の理解を深めた。										

[2142] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
英語A II			演習	FitzpatrickChristopher	1年	後期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30	1						○	期末試験	50	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—		—	—	—	○	授業内小テスト
											授業内提出物	20	有				
											授業内活動	10	有				
											その他						
											計	100					
											フィードバックの方法						
											質問等がある場合は申し出ること。内容に応じて適切な対応をする。						
											アクティブラーニングの有無(内容)		有				
授業概要 この授業では文法強化と語彙を向上させることにより、学生が必要としている英語の基本を身に着けることができるように構成されている。学生は教科書の他に、各自、渡されたファイルにプリントを保管・管理して、それに基づいた内容を出題する小テストと期末試験に備える。テキスト以外の活動として、小グループに分かれて一学期二回、英語と日本語で書かれた民話や童話を使い紙芝居を製作し、発表する。											テキストやプリントの問題を解く際は定期的にペアワークで行う。学期に二回テキスト以外の活動として、英語と日本語の両方で書かれた民話や童話を紙芝居を製作し発表する。						
授業の到達目標 既習事項の文法を確認することによって次の段階に進む基礎固めをする。専門分野に関連した英語にも随時触れていくことにより学生の英語学習に対する興味を高める。																	
単位認定の要件 全ての評価観点の合計が60点以上。																	
											回	内 容					
											1	ふかぎもんぶん Unit 39 予習:(15分)シラバスを読む テキストUnit 39 を読む 復習:(30分)39.3, 39.4 を重点的に復習					
											2	否定文 Units 40-41 (プリント#1 —Unit42配布) 予習:(15分)Units 40-41を読む 復習:(30分)様々な否定文を復習					
											3	疑問文 Units 42-43 (プリント#2 —Unit44配布) 予習:(15分)Units 42-43 を読む プリント#1を始める 復習:(30分)疑問文への書き換えを復習					
											4	違った種類の疑問文 Units 44-45 (プリント#3 —Unit46配布) 予習:(15分)Units 44-45 を読む プリント#3を始める 復習:(30分)疑問視疑問文の復習					
											5	小テスト#1 所要時間を尋ねる Unit 46 (プリント#4 —Unit47配布) 予習:(15分)Unit 46 プリント#4を始める 復習:(30分)友人にこれらの質問をして練習					
											6	間接疑問文、不定詞と動名詞 Units 47,49 特別活動 — 民話や童話の読み聞かせ 予習:(15分)Units 47, 49を読む 復習:(30分)不定詞と動名詞の復習					
											7	不定詞と動名詞と動詞 Units 50-51 (プリント#5 —Unit52配布) 予習:(15分)Units 50-51 プリント#5を始める 復習:(30分)動詞による動名詞と不定詞の選択					
											8	目的を表す不定詞と“get”の用法 Units 52,54 予習:(15分)Units 52,54 を読む 復習:(30分)“get”の異なる用法の復習					
											9	“do, make, have” 様々な用法 Units 55-56 予習:(15分)Units 55-56 を読む 復習:(30分)これらのもつとも一般的な動詞の多様な用法					
											10	小テスト#2 代名詞 Units 57-58 予習:(15分)Units 57-58 を読む 復習:(30分)格を復習					
											11	独立所有格 Units 59-60 (プリント#6—Unit61配布) 特別活動 — 民話や童話の読み聞かせ 予習:(15分)Units 59-60 を読む プリント#6を始める 復習:(30分)独立所有格の用法を復習					
											12	再帰代名詞と所有格 Units 61,62 予習:(15分)Units 61,62 を読む 復習:(30分)身の回りの物の所有者を練習					
											13	小テスト#3 不定冠詞と名詞の単数と複数 Units 63-64 予習:(15分)Units 63-64 を読む 復習:(30分)63.3, 63.4 復習					
											14	可算名詞と不可算名詞 Units 65-66 (プリント#7 —Unit67配布) 予習:(15分)Units 65-66 を始める プリント#7 —Unitを始める 復習:(30分)66.3, 66.4 を重点的に復習					
											15	期末試験に向けて総復習 Units 39-67 予習:(15分)Units 39-67 プリントの整理 質問をまとめる 復習:(30分)内容の確認					
教科書・教材 マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 日本語版																	
参考書・参考文献等 テキストに関連したプリント																	
履修上の注意等 出席を重視する																	
実務経験との関連 実務経験の有無 有											長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で、異なった年齢を対象に教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。英語論文やその他英語文献を編集／校正した経験も多数ある。2011年東日本大震災後、青森に避難した家庭の子供たちに英語を教えた経験を通して子供を教育するという領域の理解を深めた。						

[2143] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
英語B I			演習	杉本久美子	1年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
1	15	30	1			○	○		期末試験	70	有				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会 的 責任 生涯 学 習 力					《獲得した能力 を総合的に 利用し、 自ら設定し 適切な課題へ 適用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	30	有	
	○	○	—	○	—	—	○	○	—	—	—	○	○	計	100
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		英語の基礎文法定着と外国の文化理解									期末試験は採点后返却し解答の説明を行う。授業内活動についても、実施ごとに説明と所見を伝える。			
	≪汎用的技能≫		ペア、グループによる外国語活動												
	≪態度・志向性≫		継続的学習態度の育成										アクティブラーニングの有無 (内容)	有	
授業概要	これまで学んだ英語の知識を定着させ、専門的英語を学ぶ前段階としての準備を行う。 また自分の持つ英語力を使って、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養う。											ペアワーク、問題解決型学習等			
授業の 到達目標	英語学習の基本となる文法の基礎固めを行う。 習得した文法を基に英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図る。 特にこの授業で使用するテキストは、文法の定着だけでなくその応用として会話表現も学ぶ内容となっているため、英語によるコミュニケーション能力の育成に重点を置き、主体的 に考えを述べる姿勢を養うことを目標とする。														
単位認定の要件	授業内活動(30%)と期末試験(70%)の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容													
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法などについて) Unit 1 導入 予習:(30分) 使用テキストの内容確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	2	Unit 1 Where are you from? ① Grammar: Subjective-verb Agreement 主語と動詞の一致 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	3	Unit 1 Where are you from? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	4	Unit 2 How are you doing ① Grammar: Be Verb & Do Verb Be動詞と一般動詞 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	5	Unit 2 How are you doing ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	6	Unit 3 How Many classes do you have? ① Grammar: Countable Nouns 数えられる名詞 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	7	Unit 3 How Many classes do you have? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	8	Review 1 (Units 1-3) 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	9	Unit 4 How much food do you need for your party? ① Grammar: Uncountable Nouns 数えられない名詞 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	10	Unit 4 How much food do you need for your party? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	11	Unit 5 How many people are there in your family? ① Grammar: There is / There are / It is / They are の表現とIt is / They are との違い 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	12	Unit 5 How many people are there in your family? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	13	Unit 6 When is your report due? ① Grammar: Cardinal & Ordinal Numbers 数 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	14	Unit 6 When is your report due? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。													
	15	Review 2 (Units 4-6) これまでの内容の復習問題 前期授業総括 予習:(30分) わからない語彙、表現、文法事項の確認。 復習:(30分) 前期学習内容を振り返り、定着を図る。													
教科書・教材	『Project English アクティブに学ぶ英語コミュニケーション』 Vivian Morooka 足立綾 著 NAN'UN-DO ¥2300+税														
参考書・ 参考文献等	特になし														
履修上の 注意等	授業内活動(ペア、グループ等)には積極的に取り組むこと。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無													

[2144] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
英語B II			演習	杉本久美子	1年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
1	15	30	1			○	○		期末試験	70	有
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
	期末レポート										
									授業内小テスト		
									授業内提出物		
									授業内活動	30	有
									その他		
									計	100	
									フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 英語の基礎文法定着と外国の文化理解		≪汎用的技能≫ ペア、グループによる外国語活動			≪態度・志向性≫ 継続的学習態度の育成			期末試験は採点后返却し解答の説明を行う。授業内活動についても、実施ごとに説明と所見を伝える		
									アクティブラーニングの有無(内容)		有
授業概要	これまで学んだ英語の知識を定着させ、専門的英語を学ぶ前段階としての準備を行う。また自分の持つ英語力を使って、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養う。									ペアワーク、問題解決型学習等	
授業の到達目標	英語学習の基本となる文法の基礎固めを行う。習得した文法を基に英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図る。特にこの授業で使用するテキストは、ドラマ内容の把握と表現練習の構成となっているため、英語によるコミュニケーション能力の育成に重点を置き、主体的に考えを述べる姿勢を養うことを目標とする。										
単位認定の要件	授業内活動(30%)と期末試験(70%)の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について)Unit 7 導入 予習:(30分) 前期学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	2	Unit 7 How was your weekend? ① Grammar: Past Tense 過去形 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	3	Unit 7 How was your weekend? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	4	Unit 8 What time is your first class? ① Grammar: Time 時間の表現 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	5	Unit 8 What time is your first class? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	6	Unit 9 Have you ever been to Kyoto? ① Grammar: Present Perfect 現在完了形 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	7	Unit 9 Have you ever been to Kyoto? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	8	Review 3 (Units 7-9) これまでの内容の復習 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	9	Unit 10 Can I ask you a favor? ① Grammar: Auxiliary Verbs 助動詞 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	10	Unit 10 Can I ask you a favor? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	11	Unit 11 I'm going to visit my grandparents. ① Grammar: Future Tense 未来形 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	12	Unit 11 I'm going to visit my grandparents. ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	13	Unit 12 I'm on the train. ① Grammar: Prepositions 前置詞 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	14	Unit 12 I'm on the train. ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。									
	15	Review4 (Units 10-12) これまでの内容の復習 / 後期授業総括 予習:(30分) 本時学習内容の確認 復習:(30分) 後期学習内容の振り返りと定着を図る。									
教科書・教材	『Project English アクティブに学ぶ英語コミュニケーション』 Vivian Morooka 足立綾 著 NAN'UN-DO ¥2300+税										
参考書・参考文献等	特になし。										
履修上の注意等	授業内活動(ペア、グループ等)には積極的に取り組むこと。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2161】 保健体育科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
体育 I			講義	神和人	1年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
1	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士			
			1		○	○	○		期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 授業内活動 30 無 その他
	○	—	○	○	—	—	—	○	○	○
	≪知識・理解≫ 運動における内部構造を理解し、その機能が運動のメカニズムに影響するのかを学ぶ。		≪汎用的技能≫ 個々の技術習得が集団的スキルに反映することを習得し、生涯楽しむことを学ぶ。			≪態度・志向性≫ 個々の協力が周囲に影響を与えることを自覚しスポーツの意義と態度を学ぶ。			期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 授業内活動 30 無 その他	
	≪知識・理解≫ 運動における内部構造を理解し、その機能が運動のメカニズムに影響するのかを学ぶ。		≪汎用的技能≫ 個々の技術習得が集団的スキルに反映することを習得し、生涯楽しむことを学ぶ。			≪態度・志向性≫ 個々の協力が周囲に影響を与えることを自覚しスポーツの意義と態度を学ぶ。			期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 授業内活動 30 無 その他	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 運動における内部構造を理解し、その機能が運動のメカニズムに影響するのかを学ぶ。		≪汎用的技能≫ 個々の技術習得が集団的スキルに反映することを習得し、生涯楽しむことを学ぶ。			≪態度・志向性≫ 個々の協力が周囲に影響を与えることを自覚しスポーツの意義と態度を学ぶ。			小テストにおいてポイント説明と採点解説 アクティブラーニングの有無(内容) 有	
授業概要	スポーツが低学年の児童から成人まで健康で実施できる基礎と運動が及ぼす身体の変化を学ぶ。また、各スポーツについては技術・戦略・協力・態度を学び生涯取り組んでいける知識を学ぶ							各種目や技術・戦術・チームワークにおけるポイントを学ぶ		
授業の到達目標	種目ごとに特異性を考慮し、対応できる能力を養い体得する。また、個人手技術及び集団技術を学び同時に動きができるようたいとする。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	本授業のガイダンス(目的・概要・計画) 前期の内容説明と注意事項 予習:20(分)次週より体力測定のため身体を準備させる 復習:(分)								
	2	体力測定(機能・能力) 体力測定の実施(立幅び・握力・長座体前屈など) 予習:30(分)身体の柔軟性・関節の可動域を伸ばす 復習:30(分) 今まで使用していない筋群を使用したためフォローする								
	3	体力測定(持久力) 体力測定の実施(シャトルラン) 予習:30(分)心肺機能を酷使するため事前にランニング・筋肉を伸ばす 復習:20(分) 追い込みをかけたのでストレッチ・軽めのジョギング・ウォーキングで調整をはかる								
	4	体づくり運動(柔軟性・筋力) 柔軟性・呼吸循環器系を高める運動の実施 予習:30(分)関節可動域を広げ筋肉を伸ばす。心拍数を日常生活より高めるため、事前にウォーキングなどの実施 復習:30(分) ストレッチングの実施								
	5	体づくり運動(歩く・走る・投てきのフォーム指導) 投てきフォーム・ランニングフォームの実施 予習:30(分)ストレッチングの実施・可動域の広域性 復習:30(分)ストレッチングの実施								
	6	バドミントンのガイダンス(歴史・ルール・ショット) バドミントンの内容説明 予習:30(分)利き腕のストレッチング・下腿・大腿部周辺 復習:30(分) 使用した筋群のストレッチング								
	7	バドミントンの基本技術習得(ハイクリア・ヘアピン) ラケット・シャトルを使用したの馴れとショットを打つ 予習:30(分)実際にラケットを握り、シャトルと自分の身体の間隔をつかむ 復習:30(分) ストレッチングの実施、J 普段使用しない前腕部筋群を使うため筋肉痛にならないよう各自で行う								
	8	バドミントンの基本技術習得(ドライブ・ドロップ・サーブ) シャトルをコントロールするための実践 予習:30(分)ラケット・シャトルでの感覚を覚える 復習:30(分) ラケット・シャトル、自分の身体との間隔を覚える								
	9	バドミントンの基本技術習得(スマッシュ・レシーブ) バドミントンの難度の高いショットのポイント 予習:30(分)高い打点で打てる感覚を養う 復習:30(分) 打点のポイントを把握する								
	10	バドミントンの基本技術習得(ゲーム方法・テスト練習) ゲーム方法の説明・テスト方法の説明 予習:30(分)実際に今まで実施したショット活用する 復習:(分) ゲーム方法を把握してスムーズなゲーム流れを学ぶ								
	11	バドミントン(テスト) 今までのショットを活用し、ゲーム展開の実践 予習:30(分)ゲーム方法をペア同志学ぶ 復習:30(分) ゲーム展開とショットの技術説明								
	12	マット運動:前転・後転・開脚前転・開脚後転 予習:30(分)柔軟性を高める 復習:20(分) 身体が丸くなるポイント説明								
	13	マット運動:三点倒立・倒立・倒立前転 予習:30(分)柔軟性を高める・手の位置 復習:20(分) 身体バランス								
	14	水泳実習ガイダンス 水泳実習の要項説明・班づくり 予習:30(分)水泳実習で使用する準備 復習:(分) 要項内容に記載物の準備								
15	水泳実習 水泳実習 予習:30(分)準備物の確認 復習:30(分) ストレッチング									
教科書・教材	特になし									
参考書・参考文献等	授業内で適宜資料を配布する。									
履修上の注意等	水泳実習を2日間実施する。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。							

[2162] 保健体育科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
体育Ⅱ			実技	神和人	1年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30	1				○	○	○	期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 授業内活動 30 無 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	
	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		集团的・個人的スポーツの技術を学び、それが応用できるよう理解する。 技術習得(個人・集団)を学びその技術が多様的に反映されるよう学ぶ。 各スポーツの展開内容を理解し楽しむことを学ぶ。				授業内試験においてポイント説明と終了後の採点解説 アクティブラーニングの有無(内容) 有				
授業概要	各種スポーツの特異性を考慮し技術習得とチームの仲間意識を高め、協力する態度を養う。									チームワークと戦術の組み立てと個々の技術をチーム内で確認	
授業の到達目標	個人の到達には個人差があるが、問題点を明確にし修復店や個人能力に合わせたものにする。										
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	体づくり運動(柔軟性・筋力) 夏休み明けの授業 予習:30(分)個々におけるストレッチング 復習:30(分)簡単な体づくり運動の実施									
	2	体づくり運動(敏捷性・巧緻性) 素早い動き・正確な動作 予習:30(分)動ける身体の準備 復習:30(分)簡単な運動の実施									
	3	ソフトバレーボールにおけるガイダンス ソフトバレーボールの概要説明 予習:30(分)事前にボールとの馴れ 復習:30(分)コート の広さとボール感覚の把握									
	4	ソフトバレーボールの基本技術習得(レシーブ・パス) ボールのレシーブ・トスの方法を学ぶ 予習:30(分)ボールを身体前でレシーブ・頭上でのトス・パス 復習:30(分)構えの方法・レシーブ方法									
	5	ソフトバレーボールの基本技術習得(サブ・アタック) 難度のアタック方法のポイント説明 予習:30(分)ジャンプ力とタイミング 復習:30(分)タイミングの把握									
	6	ソフトバレーボールの基本技術習得(ゲーム) テストに向けたゲーム説明 予習:30(分)チームごとの実戦 復習:30(分)チーム戦略									
	7	ソフトバレーボール・テスト ゲーム方式でのテスト 予習:30(分)チームごとの実践 復習:30(分)攻撃・守備体制のフォーメーション									
	8	バスケットボールのガイダンス(歴史・ルール・ゲーム・テスト方法) バスケットボールの概要説明 予習:30(分)事前資料配布に伴う内容把握 復習:30(分)ボール慣れ									
	9	バスケットボールの基本技術習得(シュート・ドリブル) バスケットボール初日につきボールコントロールとシュート 予習:30(分)ボール慣れ 復習:30(分)ドリブル・シュート									
	10	バスケットボールの基本技術習得(パス・レイアップ) パスのポイント説明とレイアップシュートの方法 予習:30(分)シュート力を高める 復習:30(分)ボールをコントロールとシュート力									
	11	バスケットボールの基本技術習得(オフェンス・ディフェンス) 来週のテストに向けてポイントの説明 予習:30(分)チームごとにオフェンス・ディフェンスの役割分担を確認 復習:30(分)チームごとの実戦									
	12	バスケットボール・テスト チームに分かれゲームの実施 予習:30(分)テストを想定してのオフェンス・ディフェンスの役割確認 復習:30(分)戦術で正しい動きであったかの確認									
	13	スキー実習ガイダンス スキー実習における説明と持ち物の確認 予習:30(分)個々でスキーを滑れる学生は実施 復習:15(分)準備物の確認									
	14	スキー実習(本学スキー山での滑走) スキー初体験から上級者までの班ごとの実戦 予習:30(分)個々でスキーを滑れる学生は実施 復習:30(分)ストレッチングと学んだことの整理									
15	スキー実習(鯉ヶ沢スキー場) 実習2日目、各班でのテストの実施 予習:30(分)個々のストレッチング 復習:30(分)使用した筋肉のケアと、個々に本実習で学んだことを生かす										
教科書・教材	特になし										
参考書・参考文献等	授業内で適宜資料を配布する。										
履修上の注意等	スキー実習を2日間実施する。										
実務経験との関連	実務経験の有無	有	アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。								

【2202】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
教育原理			講義	齋藤雅俊	1年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30	2			○	○	○	期末試験	55	無		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	
	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—		○
	計										100		
	フィードバックの方法												
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		教育の本質と目的、これまでの歩みについての理解									コメントページ返却 アクティブラーニングの有無(内容)	
	≪汎用的技能≫		前項目について口頭、文章等で説明										
	≪態度・志向性≫												
授業概要	「教育とは何か」という本質的な問いを念頭に置きつつ、西洋教育史(古代ギリシャ時代から現代まで)や日本教育史(近代公教育の始まる明治期を中心に現代まで)における教育観や教育思想の変遷を概観しながら理解を深め、教師として現実の教育実践において出会うであろう様々な出来事に関して「人間と教育」のより全体的な脈絡の中で考察していく。												
授業の到達目標	教育実践のための基礎力を身につけるために、 ①教育の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの教育史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。												
単位認定の要件	期末試験(55点)＋コメントページ等授業内提出物(3点×15回分)＝60点以上												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	教育学の基本的概念の理解(1):語源・字義などからみる教育の意味、目的・目標。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	2	教育学の基本的概念の理解(2):個性・自主性の尊重。それらの教育観をふまえて、学校と教員・家庭はどうあるべきか。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	3	教育学の基本的概念の理解(3):素質・環境などの要因について。それらをふまえて、学校と教員・家庭はどうあるべきか。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	4	教育学の基本的概念の理解(4):教育の「場(家庭・学校・社会)」について。特徴と役割、それらをめぐる現代の教育課題。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	5	教育に関する歴史と思想(1):古代ギリシャ時代の教育(ソクラテス・プラトン・アリストテレスなど) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	6	教育に関する歴史と思想(2):ヘレニズム期～ローマの教育 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	7	教育に関する歴史と思想(3):中世の教育(キリスト教と教育。大学の成立など) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	8	教育に関する歴史と思想(4):15～6世紀の教育(ルネサンスと人文主義の教育。宗教改革と公教育の父……ルター) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	9	教育に関する歴史と思想(5):17世紀の教育(自然科学の発展と合自然の教育、実学主義。コメニウスらによる学校教育制度の試み) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	10	教育に関する歴史と思想(6):18世紀の教育(啓蒙主義と教育。市民教育の普及と近代公教育制度の芽生え……コンドルセ) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	11	教育に関する歴史と思想(7):19世紀の教育(新人文主義の教育。近代公教育制度の成立。幼児教育の発展と幼稚園・保育所の成立) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	12	教育に関する歴史と思想(8):20世紀以降の教育(児童中心主義。教育の現代化) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	13	教育に関する歴史と思想(9):日本における教育(古代～終戦まで) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	14	教育に関する歴史と思想(10):日本における教育(戦後民主主義と教育制度改革) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
	15	まとめ。現代社会における教育課題と今後の展望。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)											
教科書・教材	牛渡淳『改訂 教育学原論』中央法規												
参考書・参考文献等	上記以外の文献等も適宜参照する。また、パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意すること。												
履修上の注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、欠次の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントページ代筆、他人のコメントページを参考にする等)の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする場合がある。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無											

【2203】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
教育心理学			講義	小林琢哉	1年	後期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30	2			○	○		期末試験	80	無						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》						期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	○	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○	授業内提出物	20	有
															授業内活動		
															その他		
															計	100	
															フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		教育心理学の基礎知識									授業内提出物での学生のコメント に対して次回の講義で解説を行う。					
	《汎用的技能》		心理学的な考え方									アクティブラーニングの有無 (内容)			有		
	《態度・志向性》		心理学的知見を実生活に応用する姿勢														
授業概要	本講義では、将来教職に就くものとして必要となる、教育における諸問題を心理学的観点から説明できる素養を習得することを目的とする。人間の心身の発達及び学習の過程について、教育心理学における分野における基礎知識を得る過程で、教育に関わる心理学的なものの方・考え方を養う。											心理実験・調査の体験及びグループワーク					
授業の 到達目標	①乳幼児期から青年期にかけての運動・言語・認知・社会性等心身の発達過程に関する代表的な理論の内容を具体的に理解し、その内容を説明できる。 ②学習や記憶の代表的な理論及び主体的学習を支える指導方法を理解し、その内容を説明できる。 ③学習者の動機づけや学級集団の形成の仕組み・教師のリーダーシップなどについての理解の内容を説明できる。 ④教育評価・教育統計の基礎概念を理解し、適切に説明できる。																
単位認定の要件	授業内提出物及び期末試験の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	発達①発達の原理、遺伝・環境要因の影響に関する体系的な理論 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 発達の原理について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	2	発達②運動と遊び 粗大運動・微細運動の発達、一人遊びから共同遊びへ 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 運動の発達について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	3	発達③言語 言語発達の過程、母語と第二言語獲得の基礎 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 言語発達の仕組みと過程について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	4	発達④認知 ビヤジエ理論、ヴィゴツキーの社会構成主義、素朴理論 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) ビヤジエの認知発達理論、ヴィゴツキーの発達理論について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	5	発達⑤社会性 道徳性・向社会的行動の発達、アイデンティティ形成、人格の発達 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 道徳性の発達について、コールバーグ理論を中心に教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	6	動機づけの理論 外発的動機づけ・内発的動機づけ・達成動機 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 動機づけの種類、知能との関係について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	7	学力①新しい学力 情報活用能力を含む21世紀型スキル 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 生きる力、情報活用能力などの新しい学力について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	8	学力②学力・知能の定義と測定方法 知能の構造・検査方法 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 知能測定の歴史、知能検査の種類などについて教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	9	学習過程①学習の仕組み 行動主義・認知主義の学習理論 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 心理学における学習の理論について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	10	学習過程②記憶の仕組み 記憶の種類と忘却の過程、作業記憶の発達と学習支援 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 記憶の二重貯蔵モデル、作業記憶モデルについて教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	11	学級集団 集団の種類・形成と成員への心理的影響 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 集団の形成過程、学級集団の理解について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	12	教育評価①測定と評価の方法 教育統計、目標に準拠した評価、ポートフォリオ評価 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 教育評価の種類、方法について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	13	教育評価②評価に影響する要因の理解 適性処遇相互作用など 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) テスト結果を変動させる要因について、授業資料を整理して内容を確認する。															
	14	指導方法①学習理論に基づいた授業方法 プログラム学習・発見学習 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 行動主義心理学の授業理論について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
15	指導方法②学習理論に基づいた授業形態の理解 協調学習、ジグソー学習など 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 認知主義の学習理論に基づく授業設計について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																
教科書・教材	古川 聡(編) 教育心理学をさきめる10のチカラ 改訂版 福村出版																
参考書・ 参考文献等	授業中にプリントを配布する。																
履修上の 注意等	授業時間中に無断で退出したものは単位不認定とする。																
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無															

【2205】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
保育原理			講義	安川由貴子	1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30	2						○	期末試験	45	無				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》						期末レポート	25	無		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	—	授業内提出物	10	有
														授業内提出物	20	有
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
														ミニ発表用の提出物は、印刷して授業時に共有する。コメント・ペーパーの内容や質問は授業内で適宜共有する。		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		保育に関する基本的知識の理解									アクティブラーニングの有無(内容)	有			
	《汎用的技能》		保育の現状や課題を踏まえた考察力													
	《態度・志向性》		保育士としての倫理観や態度の育成													
授業概要	保育の意義や目的、保育に関する法令及び制度を理解し、保育に求められる社会的役割が理解できるよう解説する。日本の保育の現状や課題について理解を深めるとともに、保育所保育指針における保育の基本を学び、保育士に求められる基本的な姿勢を培う。また、諸外国及び日本の保育の思想と歴史についても学び、保育のあり方について多面的に理解する視点を身に付けられるよう、実践事例も踏まえて解説する。												グループディスカッション、発表			
授業の到達目標	1.保育の意義及び目的について理解し考察できる。 2.わが国における保育に関する法令及び制度を理解し説明できる。 3.保育所保育指針における保育の基本について理解し説明できる。 4.保育の思想と歴史の変遷について理解し説明できる。 5.保育の現状と課題について理解し考察できる。															
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	ガイダンス、保育の場についての理解、自らを振り返りこれからの私を考える 予習:(90分)自らの乳幼児期の経験について振り返り、どのような保育・教育を目指していきたいかを考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	2	保育の意義と目的①保育の理念と概念、子どもの最善の利益と保育 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	3	保育の意義と目的②子ども家庭福祉と保育、保育の社会的役割と責任 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	4	保育に関する法令及び制度①子ども家庭福祉の法体系における保育の位置付けと関係法令 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	5	保育に関する法令及び制度②子ども・子育て支援新制度 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	6	保育に関する法令及び制度③保育の実施体系 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	7	日本の保育の現状と課題 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	8	保育所保育指針における保育の基本①保育所保育指針の位置付けと保育所の役割 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	9	保育所保育指針における保育の基本②保育の目標、保育の方法 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	10	保育所保育指針における保育の基本③保育の環境、保育における養護 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	11	保育所保育指針における保育の基本④子ども理解に基づく計画・実践、記録・評価・改善の過程とその循環 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	12	諸外国の保育の思想と歴史①西欧における保育施設の誕生 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	13	諸外国の保育の思想と歴史②フレーベル、モンテッソーリ 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	14	諸外国の保育の現状と実践 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	15	日本の保育の思想と歴史 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
教科書・教材	レジュメ、資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針(平成29年告示)』フレーベル館。															
参考書・参考文献等	厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館、一般社団法人全国保育士養成協議会監修、宮島清・山縣文治編『ひと目でわかる保育者・ソーシャルワーカーのための子ども家庭福祉データブック2026』中央法規他。授業内に適宜紹介する。															
履修上の注意等	保育の問題を考える際に、保育所保育指針を繰り返し参照する習慣を身に付けること。ミニ発表やグループワークも適宜取り入れるので、積極的な参加を期待します。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【2206】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
保育の心理学			講義	新田史暁	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30	2					○	期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 60 有 授業内提出物 40 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		子どもの心身発達の理解 年齢段階を踏まえた保育者のかかわり方の検討			第15回目の講義で試験を実施し、講義内でその解説を行う。コメントペーパーは確認後返却し、講義内においてフィードバックする。				
授業概要	身体・運動機能、認知機能、自己概念、対人関係、コミュニケーション・社会性といった人間の心身機能の各側面に焦点を当て、これらの発達の変化について概観する。心身機能の発達プロセスに関する基礎理解をもとに、年齢段階に応じた子どもへの関わり方について考える力の修得を目標とする。								グループワーク	
授業の到達目標	年齢段階に応じた子どもへの関わり方について考える力を修得するために、 ①心身発達の諸側面に関する基礎用語を理解できる。 ②各年齢段階の特徴を理解できる。 ③子どもの発達を促す環境や対応について理解できる。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	保育実践と心理学の関連について 予習:(90分)保育に対するイメージを考え、保育現場の問題を調べる。 復習:(90分) 保育を行うにあたり心理学を学ぶ意義を明確にする。								
	2	生涯発達 予習:(90分) 生涯発達の考え方について調べる。 復習:(90分) エリクソンの発達段階論について確認する。発達課題と危機を理解する意義について理解する。								
	3	愛着形成 予習:(90分) 愛着とはなにか、愛着の構築が人間に及ぼす影響を調べる。 復習:(90分) 愛着が人の発達においてどのような役割を果たすのか確認すること。また愛着障害の特徴について把握する。								
	4	知覚の発達 予習:(90分) お腹のなかで胎児がどのように発達するのか調べてみる。 復習:(90分) 胎児と乳児の視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の特徴について確認する。								
	5	乳幼児の体と心の発達の関係 予習:(90分) 乳児の運動機能はどのように成長するのか調べる。 復習:(90分) 神経系の発達の仕組みと運動の関係(不随意運動と随意運動)を理解する。								
	6	認知機能の発達(ピアジェの認知発達段階:感覚運動期) 予習:(90分)ピアジェは認知発達理論において人間の認知がどのように発達していくと考えたのか調べる。 復習:(90分) 感覚運動期の特徴(物の永続性、AnotBエラー)について理解する。								
	7	認知機能の発達(ピアジェの認知発達段階:前操作期・具体的操作期・形式的操作期) 予習:(90分) 小学生のときの学習方法について、中・高・大学生の学習方法との違いを考え調べる。 復習:(90分) 小学校低学年の認知の特徴、小学生が物事を理解するにはどのようなことに気を付ければよいか理解する。								
	8	会話の発達 予習:(90分) 心理学における共同注意について調べ、会話において意図の理解がどのように関係するか調べる。 復習:(90分) 共同注意、言葉を話すプロセス、指さしは何を意味するか理解する。								
	9	自己理解の発達 予習:(90分) ナイサーによる5つの自己概念について調べる。 復習:(90分) 乳児が自己理解に至る過程、感情発達モデル、自己制御について理解する。								
	10	他者理解の発達 予習:(90分) 心の理論とはなにか、また心の理論の獲得を調べる方法を調べる。 復習:(90分) 心の理論と誤信念課題、思いやりの嘘、道徳的判断の発達について理解する。								
	11	発達障害 予習:(90分) 発達障害について調べる。発達障害の方と接した経験について考えてみる。 復習:(90分) 自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症のそれぞれの特徴と支援の考え方を理解する。								
	12	発達障害の心理学的アセスメント 予習:(90分) 発達障害児・者がどのような生きづらさを抱えているか調べる。 復習:(90分) 自閉スペクトラム症の特徴、周囲の理解と対応においてどのようなことが重要か、考える。								
	13	発達障害児の理解と対応 予習:(90分) インクルーシブ保育について調べる。 復習:(90分) 発達特性を持つ子どもに対して、どのような支援ができるのか自分の考えをまとめる。								
	14	保育者の発達 予習:(90分) 対人援助職のバーンアウトについて調べる。 復習:(90分) バーンアウトしないために自分自身でどのようなことに気を付けるべきか考える。								
	15	授業内試験 予習:(90分) これまでの復習 復習:(90分) 試験内容の復習								
教科書・教材	適宜配布資料を用意する。									
参考書・参考文献等	坂上裕子ら(著)「問いからはじめる発達心理学 生涯にわたる育ちの科学」(有斐閣) 遠藤利彦ら(著)「乳幼児のこころ 子育て・子育ての発達心理学」(有斐閣アルマ)									
履修上の注意等	配布資料はよく整理し保管しておくこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	主に学校や心理相談室で子どもを援助した臨床経験を持つ教員が、保育に活用するための心理学的知識について講義する。							

【2207】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
ピアノ基礎 I			演習	一戸智之	1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30	1						□	期末試験	80	有				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》						期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	○	授業内提出物	10	有
														授業内活動	10	有
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
														毎時間提出を課している実技レッスン記録表は、担当教員が毎週のレッスン時に確認し、返却する。前期末実技試験終了後、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		音楽理論、音楽用語、基礎的なピアノ奏法									アクティブラーニングの有無(内容)		有		
	《汎用的技能》		鍵盤楽器の基礎的表現、伴奏法													
	《態度・志向性》		計画的、協調学習													
授業概要	保育・初等教育における音楽活動を支えるために不可欠なピアノの基礎技法および教材伴奏法の修得を図る。楽曲を構成する拍子やリズム、音楽理論、専門用語を体系的に解説し、鍵盤楽器の特性について多角的な視点から提示する。また、習熟度に応じた少人数グループによる協調学習を取り入れ、相互の学び合いを通して実践的な技能向上を支援する。なお、実技経験の差異に配慮し、テキスト選定や学習計画の策定については、個別の相談を通じて随時助言を行う。											グループワーク、グループディスカッション、協調学習				
授業の到達目標	① バイエル教則本35番までを完遂し、修得した基礎的な技法と知識に基づき、実技試験において学習成果を十分に反映させた演奏ができる。 ② レッスン記録表を継続的に活用することで、自身の技術的課題を客観的に分析し、自律的な練習計画を構築・実践できる。 ③ 各回の授業内容に応じた準備学習および復習を習慣化し、自身の課題を明確にした上で、着実に技術を積み上げる態度を身につけている。 ④ 音楽的感性を磨き、表現の多様性を理解するとともに、幼児・児童教育における音楽の役割と目的を専門的観点から説明できる。															
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	本授業の目的、概要と計画 予習:(80分)入門者及び初心者にはテキスト「全訳バイエルピアノ教則本」を購入し、9ページまでを通読しておく。中級者以上はこれまで演奏した曲を練習しておく。 復習:(80分)テキスト9ページまで再読し、譜表の読み方、譜表と鍵盤の位置、音符と休符の種類と長さについて理解する。														
	2	音価記号、音符と休符の長さ、連指番号について 予習:(80分)音符と休符の種類と長さについて理解する。「全訳バイエルピアノ教則本」10～11ページを練習する。中級者以上は各自指定された曲を練習する。 復習:(80分)5指の正しいフォームを意識しながら、音符の長さどリズムを正確に弾けるように練習する。														
	3	右手の指の打鍵練習、鍵盤と音名の関係 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」13及び15ページを練習する 復習:(80分)5指の正しいフォームを意識し、音符と休符の長さどリズムを正確に弾けるように練習する。														
	4	左手の指の打鍵練習、スラーとレガートについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」17及び19ページを練習する 復習:(80分)5指の正しいフォームを意識し、スラーとレガートを保つことができるよう練習する。														
	5	両手による打鍵練習、反復記号、フレーズについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.3～7を練習する 復習:(80分)5指と手首の正しいフォームを意識し、フレーズ感のある演奏を目指す。														
	6	拍子記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.8～9を練習する 復習:(80分)5指と手首の正しいフォームを意識し、スラーの位置に気を付けながら練習する。														
	7	速度記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.10～11を練習する 復習:(80分)左手3指の正しいフォームを意識し、スラーの位置に気を付けながら練習する。														
	8	ユニゾン奏の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.12～15を練習する 復習:(80分)正しいテンポ感を保ち、レガートとメソスタッカートの違いを意識しながらフレーズ感のある演奏を目指す。														
	9	2度音程の順次進行から3度音程へ 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.16～18を練習する 復習:(80分)右手の旋律を歌いながら練習する。No.18は左手の重音の正しい奏法を意識しながら練習する。														
	10	6度の響きとアーティキュレーション、旋律伴奏の形式、分散和音の伴奏形の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.19～21を練習する 復習:(80分)スタッカートとスラーの違いを意識しながら練習する。No.21は左手の分散和音をレガートで弾けるように練習する。														
	11	平行進行と反進行の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.22～25を練習する 復習:(80分)左右の音量のバランスに注意し、旋律のレガートを心掛けフレーズ感のある演奏を目指す。														
	12	タイの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.26～29を練習する 復習:(80分)No.28は、テンポ感と指のフォームに注意しながら練習する。No.39は、タイの奏法を確認する。														
	13	加線について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.30～33を練習する 復習:(80分)加線の読み方を理解する。														
	14	左手のポジションについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.34～35を練習する 復習:(80分)No.35は、左手の連指のポジションを確認する。これまでピアノ奏法について学修したポイントを整理する。														
	15	前期末実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントについて確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(90分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して改善すべき点を明確化し共有する。														
教科書・教材	入門者及び初心者には「全訳バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)を中心に使用する。すでにバイエル終了程度の実力を有する受講者は、以下の教材を各人の演奏レベルに応じて選曲し、より高度な汎用的ピアノ技能の獲得を目指す。また、適宜、オリジナルの技能習得テキストや歌唱教材を併用し、グループ学習を促進する。主要テキスト:「全訳バイエルピアノ教則本」「ブルクミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム I」「モーツァルトソナタアルバム I・II」(以上、全音楽譜出版社)															
参考書・参考文献等	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典」(音楽之友社)															
履修上の注意等	① 使用テキストは、初回の授業の中で各人との相談によって決定します。 ② 各回の内容については、各人の学修状況により変更する場合があります。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	全日本ピアノ指導者協会における指導および専属ピアニストとしての実務経験を有する教員が、ピアノの基礎的な知識・技能や教材伴奏の手法について実演を交えた指導を行う。また、歌唱指導等の経験に基づき、児童の歌唱表現を引き出すための具体的な技術や、伴奏と歌唱を一体化させた実践的な指導の在り方を提示・助言する。													

【2208】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
ピアノ基礎Ⅱ			演習	一戸智之	1年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
1	15	30	1					<input type="checkbox"/>	期末試験 70 有						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート						
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシ ー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リーダー シップ	倫理 観	社会 的責任	生涯 学習力	授業内小テスト 10 有	
	〇	—	〇	—	—	〇	〇	—	〇	〇	—	—	—	〇	授業内提出物 10 有
															授業内提出物 10 有
															授業内活動 10 有
															その他
															計 100
															フィードバックの方法
															毎時間提出を課している実技レッスン 記録表は、担当教員が毎週のレッス ン時に確認し、返却する。前期末実技 試験終了後、教員による講評と履修者 全員で振り返りを行うとともに、個別指 導を通じて各々の課題を明確化し、継 続的な取り組みを促進する。
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、音楽用語、基礎的なピアノ奏法			《態度・志向性》			計画性、協調学習	アクティブラーニングの有無 (内容)	有				
授業概要	保育・初等教育における音楽活動を支えるために不可欠なピアノの基礎技法および教材伴奏法の修得を図る。楽曲を構成する拍子やリズム、音楽理論、専門用語を体系的に解説し、鍵盤楽器の特性について多角的な視点から提示する。また、習熟度に応じた少人数グループによる協調学習を取り入れ、相互の学び合いを通して実践的な技能向上を支援する。なお、実技経験の差異に配慮し、テキスト選定や学習計画の策定については、個別の相談を通じて随時助言を行う。									グループワーク、グループディス カッション、協調学習					
授業の 到達目標	① バイエル教則本58番までを完遂し、修得した基礎的な技法と知識に基づき、実技試験において学習成果を十分に反映させた演奏ができる。 ② レッスン記録表を継続的に活用することで、自身の技術的課題を客観的に分析し、自立的な練習計画を構築・実践できる。 ③ 各回の授業内容に応じた準備学習および復習を習慣化し、自身の課題を明確にした上で、着実に技術を積み上げる態度を身につける。 ④ 音楽的感性を磨き、表現の多様性を理解するとともに、幼児・児童教育における音楽の役割と目的を専門的観点から説明できる。														
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容													
	1	前のフレーズの終わりの音と、次のフレーズのはじめの音が重なっている場合の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.36～37を練習する 復習:(80分)右手のスラーのかかり方に注意しながら練習する。													
	2	A-B-A-B形式の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.38～39を練習する 復習:(80分)左手のレガートを保ちながら右手の旋律をよく響かせながら練習する。													
	3	ユニゾン奏法の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.40～42を練習する 復習:(80分)№.40は、スラーとフレーズを意識して練習する。№.41～42は、スラーのかかり方に注意し、全体に柔和にまとめる。													
	4	オクターブ記号について、8分音符の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.43～44を練習する 復習:(80分)オクターブ記号、8分音符の奏法について理解し、粒をそろえて無理なく弾けるよう練習する。													
	5	反復記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.45～46を練習する 復習:(80分)左手の分散和音の連指番号とタイに気を付けながら練習する。反復記号を理解する。													
	6	付点4分音符と付点2分音符の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.47～49を練習する 復習:(80分)付点4分音符と付点2分音符の違いを理解し、正しいリズムで演奏できるよう練習する。													
	7	後期中間実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントについて確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(80分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して相互に課題を明確化し共有する。													
	8	後期中間実技試験及び振り返り(最低到達目標はバイエルピアノ教則本49番とする) 予習:(90分)試験課題曲について改善すべき点を確認し、弾き直しがないように十分練習する。 復習:(80分)リハーサルを通して試験課題曲の演奏を振り返り、改善点を洗い出し、第9回目以降の到達目標及び練習計画を立てる。													
	9	8分の6拍子と4分の4拍子について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.50～51を練習する 復習:(80分)8分の6拍子と4分の4拍子の違いを理解し、正しい拍子感で演奏できるようにする。													
	10	へ音記号の読み方 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.52～53を練習する 復習:(80分)へ音記号について理解する。右手と左手はアクセントが付かないようめらかに演奏できるようにする。													
	11	強弱記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.54～55を練習する 復習:(80分)リズムが崩れないよう強弱の変化を意識しながら練習する。													
	12	クレシェンド、ディミヌエンド、デクレシェンドの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.56～57を練習する 復習:(80分)クレシェンド、ディミヌエンド、デクレシェンドの奏法を理解する。													
	13	8分の3拍子について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.58を練習する 復習:(80分)№.60はこれまで学修した内容が網羅されていることから、正確に読譜できるよう練習する。													
	14	メトロノームの活用について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.58を練習する 復習:(80分)メトロノームの活用方法について理解する。													
	15	後期末実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(90分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して改善すべき点を明確化し共有する。													
教科書・教材	入門者及び初心者には「全訳バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)を中心に使用する。すでにバイエル終了程度の実力を有する受講者は、以下の教材を各人の演奏レベルに応じて選曲し、より高度な汎用的ピアノ技能の獲得を目指す。また、適宜、オリジナルの技能習得テキストや歌唱教材を併用し、グループ学習を促進する。主要テキスト:「全訳バイエルピアノ教則本」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバムⅠ」「モーツァルトソナチネアルバムⅠ・Ⅱ」(以上、全音楽譜出版社)														
参考書・ 参考文献等	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典」(音楽之友社)														
履修上の 注意等	① 使用テキストは、初回の授業の中で各人との相談によって決定します。 ② 各回の内容については、各人の学習状況により変更する場合があります。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	全日本ピアノ指導者協会における指導および専属ピアニストとしての実務経験を有する教員が、ピアノの基礎的な知識・技能や教材伴奏の手法について実演を交えた指導を行う。また、歌唱指導等の経験に基づき、児童の歌唱表現を引き出すための具体的な技術や、伴奏と歌唱を一体化させた実践的な指導の在り方を提示・助言する。												

【2211】 専門教育科目 専門に関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
被服の基礎実習		実習		葛西美樹・工藤寧子		1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士					
1	8	30	1												
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力					≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダースhip 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定し適用し、その課題を解決する能力》				
	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—				○	○
	≪知識・理解≫ 基礎知識の習得		≪汎用的技能≫ 応用能力												
	≪態度・志向性≫ 応用能力														
当該科目のキーワード			基礎知識の習得								授業内提出物はコメントを記し返却する。				
授業概要			日々の生活において布を用いた製作に関する技能の習得は、我々の暮らしをより豊かにするために必要なスキルについて説明する。また、免許・資格を取得するための実習時や就職後も実践・活用できる応用能力を指導する。								グループワーク				
授業の到達目標			1. 道具を正しく使うことができる 2. 基本の縫い方ができる 3. 身に付けた知識・技能を応用し実践できる												
単位認定の要件			到達目標1～3の合計が60点以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	授業の概要、実習室の使用方法(葛西・工藤) 手縫いの基礎(玉結び、玉どめ、かがり縫い) 予習:(0分) 復習:(45分) かがり縫いを終わらせる													
	2	A班 地域の廃材を利用した小物の製作 ①材料の準備(葛西)→ ミシンの使い方 基礎(工藤) B班 ミシンの使い方 基礎(工藤) → 地域の廃材を利用した小物の製作 ①材料の準備(葛西) 予習:(0分) 復習:(90分) 布の絞りや強さなどを確認する													
	3	A班 地域の廃材を利用した小物の製作 ②染色(葛西) B班 小物入れの製作 ①(布の裁断、しるし付け、並縫い、返し縫い)(工藤) 予習:(0分) 復習:(50分) 返し縫いを終わらせる													
	4	A班 小物入れの製作 ①(布の裁断、しるし付け、並縫い、返し縫い)(工藤) B班 地域の廃材を利用した小物の製作 ②染色(葛西) 予習:(0分) 復習:(50分) 返し縫いを終わらせる													
	5	A班 衣服の保健衛生的機能の理解(実験)(葛西) B班 小物入れの製作 ②縫製(ミシン縫い、ステッチ、ボタン付け)(工藤) 予習:(45分) ミシンの使い方を確認 復習:(45分) 実験レポートの作成													
	6	A班 小物入れの製作 ②縫製(ミシン縫い、ステッチ、ボタン付け)(工藤) B班 衣服の保健衛生的機能の理解(実験)(葛西) 予習:(45分) ミシンの使い方を確認 復習:(45分) 実験レポートの作成													
	7	地域の廃材を利用した小物の製作 ③カード織(葛西・工藤) 予習:(90分) 廃材を使用した作品を調べる 復習:(0分)													
	8	地域の廃材を利用した小物の製作 ④仕上げ、発表(葛西・工藤) 予習:(90分) 作品のアレンジ方法を考える 復習:(0分)													
教科書・教材			授業時に資料を配布する。												
参考書・参考文献等			特になし												
履修上の注意等			前時の課題を終えてくること。提出期限を守ること。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無													
		期末試験													
		期末レポート													
		授業内小テスト													
		授業内提出物		50		有									
		授業内活動		50		有									
		その他													
		計		100											
		フィードバックの方法													
		アクティブラーニングの有無(内容)				有									

【2212】 専門教育科目 専門に関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科						
調理の基礎実習		実習		山田和歌子		1年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無			
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士				
1	8	30	1											
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目		《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	
		基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		
当該科目のキーワード		《知識・理解》			基礎知識の習得								期末試験 無 期末レポート 無 授業内小テスト 無 授業内提出物 50 有 授業内活動 50 有 その他 無	
		《汎用的技能》			コミュニケーション能力の向上								計 100	
		《態度・志向性》			応用能力								フィードバックの方法	
授業概要		日々の生活において調理に関する技能の習得は、暮らしをより豊かにするために必要なスキルである。免許・資格を習得するため、実習時や就職後も実践・活用できる応用力を身に付けることを目指す。										授業内提出物はコメントを付して次回以降の講義内で解説・返却する。授業内活動(実習)は授業内で評価を行い、解説する。		
授業の到達目標		調理の基礎的な操作である炊飯やだしの取り方、食材の切り方などの調理技術を習得し、日常食の調理技術を実践を通して身につける。日々の食事に関心を寄せ、献立・調理法への理解を深める。										アクティブラーニングの有無(内容) 有		
単位認定の要件		提出物、実習への取り組みを総合的に判断し、60%以上の習得とする										グループディスカッション		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容											
		1	ガイダンス 講義概要、実習心得、実習室の使い方 予習:(30分) シラバスを読み、授業概要と授業の到達目標を理解する 復習:(30分) 配布プリント等を読み、次回以降の実習が円滑に進むようシミュレーションを行う											
		2	炊飯の原理、だしのとり方、野菜の切り方、ごはん、豚汁 予習:(30分) 混合だしのとり方、食材の切り方と名称を調べ理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
		3	日本料理① いわしのかば焼き丼 豆腐となめこのみそ汁 きゅうりとわかめの酢の物 予習:(30分) いわしの手開き、煮干しだしのとり方を理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
		4	日本料理② 炊き込みご飯 かきたま汁 ほうれん草のお浸し 予習:(30分) 炊飯方法(味付き飯)、青菜の茹で方のポイントを理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
		5	西洋料理① スパゲッティ・ナポリタン グリーンサラダ オレンジゼリー 予習:(30分) ドレッシングについて、寒天の調理法について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
		6	西洋料理② チキンピラフ ポテトポタージュ ヨーグルトサラダ 予習:(30分) 濃度のあるスープの作り方について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
		7	中国料理① 涼麺 牛奶豆腐 中国茶 予習:(30分) 麺の調理、茶葉に適したお茶の淹れ方について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
		8	おやつ献立 クレープ ティーパンチ まとめ 予習:(30分) 小麦粉の調理性、卵の調理性について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる											
教科書・教材		ビジュアル食品成分表(八訂)(大修館書店) その他必要な資料は適宜印刷して配布します												
参考書・参考文献等		改訂 調理学実習 第3版 流れと要点がわかる 調理学実習(光生館) NEW調理と理論第二版(同文書院)												
履修上の注意等		食物アレルギーがある場合は必ず申し出ること。状況により、メニューや食材が変更になる場合があります。なお、実習費は別途集めます。												
実務経験との関連		実務経験の有無	無											

[2220] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
基礎ゼミ I			演習	齋藤雅俊・他	1年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30	1						期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40	無	
										授業内小テスト			
										授業内提出物	30	有	
								授業内活動	30	無	その他		
								計	100				
フィードバックの方法													
											コメントペーパー、ワークシート等授業内提出物、期末レポートの返却		
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫		大学の学び・進路選択に関わる知識						アクティブラーニングの有無(内容)		有	
		≪汎用的技能≫		学びをより深めるために必要なスキル									
		≪態度・志向性≫		主体的で対話的な学びに向かう態度									
授業概要		10年20年とAI・オートメーション化がどれだけ進展しようとも、決してなくなる職(医療、福祉、教育・保育)の一角を担う人材となるためには、知識・技能もさることながら、なによりも「人間力」を豊かに涵養する必要がある。機械では代用できないこうした力をこれからの4年間で身につけていくための「最初の一歩」となるスタートカリキュラムが本授業である。これから卒業まで苦楽を共にする仲間との親睦を深めながら、グループワーク等を通して大学の学びに必要な基礎を培う。								合宿研修会の準備、実行、振り返り等			
授業の到達目標		①大学の学びに必要な知識・技能・態度といった学士力の基礎を身につけることができる。 ②グループワーク等を通して教員・保育士に必要な不可欠な協調性といった人間力を培うことができる。 ③学内外のさまざまな行事や活動に積極的に参加する重要性や意義を理解できる。 ④意欲や希望をもって自らの研究テーマ、進路や将来について考えを深めることができる。											
単位認定の要件		期末レポート(40点)+ワークシート等授業内提出物(30点)+授業内活動(30点)=60点以上											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容										
		1	新入生オリエンテーション① 大学における学びとは? 3つのポリシー、一年次前期の概要等(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		2	新入生オリエンテーション② 小・幼・保 課程履修ガイダンス 課程履修・学外実習・4年間のスケジュール等について(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		3	キャリア支援ガイダンス① 自己評価調査、自己分析ワーク (キャリア支援教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		4	こども発達学科 研修会(準備)① 事前ガイダンス、研修会に向けて(担任、協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		5	こども発達学科 研修会(準備)② グループワーク、研修会の計画等(担任、協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		6	キャリア支援ガイダンス② 仕事のイメージ(ワーク)、求人票の見方、就職資料室の利用 (キャリア支援教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		7	こども発達学科 研修会(準備)③ グループワーク、冊子作成等(担任、協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		8	こども発達学科 研修会(当日)① 教員による講話等(担任、協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		9	こども発達学科 研修会(当日)② 学生による座談会、レクリエーション等(担任、協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		10	こども発達学科 研修会ふりかえり・アンケート他 (担任、協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		11	ポートフォリオガイダンス① ポートフォリオとは? ポートフォリオの作成・解説(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		12	ポートフォリオガイダンス② 実際に記入してみよう(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		13	メンタルヘルスについて① 一人で悩まないで…学生相談室・保健室の利用等(新田 史暁) 予習:(なし) 復習:(なし)										
		14	キャリア支援ガイダンス③ スタートアップセミナー、適性検査ワーク① (外部講師、キャリア支援教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
15	メンタルヘルスについて② 一年次前期終了を迎えて…ストレスチェックと簡単なメンタルケア法(新田 史暁) 予習:(なし) 復習:(なし)												
教科書・教材		授業中に、適宜紹介する。											
参考書・参考文献等		授業中に、適宜紹介する。											
履修上の注意等		授業内における活動が重要であるため、積極的な出席・参加を求める。なお、欠席する場合の欠課届はクラス主任に提出すること。開講日時が異動する回が多いため、掲示板を常に確認する癖をつけること。											
実務経験との関連		実務経験の有無	有	研修会の講話の際、実務家教員が担当した場合は自分の経験を踏まえた講話を行う。									

【2221】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科		
基礎ゼミⅡ			演習	齋藤雅俊・他	1年	後期	こども発達学科		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士	
1	15	30	1						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験 期末レポート 40 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 無 その他 計 100 フィードバックの方法				
	○	—	○		○	○	○	○	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》	大学の学び・進路選択に関わる知識			ワークシート、コメントペーパー等授業内提出物の返却 アクティブラーニングの有無(内容) 有				
	《汎用的技能》	学びをより深めるために必要なスキル							
	《態度・志向性》	主体的で対話的な学びに向かう態度							
授業概要	10年20年とAI・オートメーション化がどれだけ進展しようとも、決してなくなる職(医療、福祉、教育・保育)の一角を担う人材となるためには、知識・技能もさることながら、なによりも「人間力」を豊かに涵養する必要がある。機械では代用できないこうした力をこれからの4年間で身につけていくための「最初の一歩」となるスタートカリキュラムが本授業である。これから卒業まで苦楽を共にする仲間との親睦を深めながら、グループワーク等を通して大学の学びに必要な基礎を培う。				メンタルヘルス回でのグループワーク等				
授業の到達目標	①大学の学びに必要な知識・技能・態度といった学士力の基礎を身につけることができる。 ②グループワーク等を通して教員・保育士に必要な不可欠な協調性といった人間力を培うことができる。 ③学内外のさまざまな行事や活動に積極的に参加する重要性や意義を理解できる。 ④意欲や希望をもって自らの研究テーマ、進路や将来について考えを深めることができる。								
単位認定の要件	期末レポート(40点)＋ワークシート等授業内提出物(30点)＋授業内活動(30点)＝60点以上								
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容							
	1	後期オリエンテーション…前期のふりかえりと後期の概要等について(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	2	メンタルヘルスについて③ 大学祭等の集団活動に際して…人間関係を円滑にする対人スキル(新田 史暁) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	3	メンタルヘルスについて④ 自信・意欲・自己肯定感を高めるためには?(新田 史暁) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	4	小論文・レポートの書き方① 小論文と感想文の違い、論文作法等(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	5	小論文・レポートの書き方② 例文参照・解説(齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	6	学外実習に向けて身につけておきたい基本的マナーについて(小林 琢哉) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	7	キャリア支援ガイダンス④ (キャリア支援教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	8	卒業研究 研究室配属について…2年次以降の学びに向けて(こども発達学科長、こども発達学科長補佐、担任) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	9	研究室配属に向けて① こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(担当教員、司会:齋藤 雅俊) ※第9～12回はこども発達学科教員を4グループに分け実施する。2年次にじっくり研究テーマを考える手がかりとする。 予習:(なし) 復習:(なし)							
	10	研究室配属に向けて② こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(担当教員、司会:齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	11	研究室配属に向けて③ こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(担当教員、司会:齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	12	研究室配属に向けて④ こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(担当教員、司会:齋藤 雅俊) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	13	キャリア支援ガイダンス⑤ (キャリア支援教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	14	卒業研究 研究発表会(見学)①(担任) 予習:(なし) 復習:(なし)							
	15	卒業研究 研究発表会(見学)②(担任) 予習:(なし) 復習:(なし)							
教科書・教材	授業中に、適宜紹介する。								
参考書・参考文献等	授業中に、適宜紹介する。								
履修上の注意等	授業内における活動が重要であるため、積極的な出席・参加を求める。なお、欠席する場合の欠課届はクラス主任に提出すること。開講日時が異動する回が多いため、掲示板を常に確認する癖をつけること。								
実務経験との関連	実務経験の有無	有	研究室配属に向けての説明の際、実務家教員が自分の経験を踏まえた講話を行う。						

[2231] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
家庭管理学			講義	工藤寧子	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2					期末試験	無	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	<<知識・理解>> 基礎知識の体系的理解		<<汎用的技能>> コミュニケーションスキル			<<態度・志向性>> 自己管理能力					期末レポート 無
	多文化・異文化 文化・社会・自然		数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					授業内小テスト 40 有
	多文化・異文化		数量的スキル			チームワーク					授業内提出物 40 有
	多文化・異文化		数量的スキル			チームワーク					授業内活動 20 有
										その他 無	
										計	100
										フィードバックの方法	
										授業内小テスト・提出物は、採点し、授業内でコメントする。グループ活動は、活動終了時に授業内でコメントする。	
当該科目のキーワード		<<知識・理解>> 家族・家庭生活の機能の理解		<<汎用的技能>> 生活課題の解決力		<<態度・志向性>> 持続可能な生活を実践しようとする態度		アクティブラーニングの有無(内容)		有	
授業概要		晩婚化、少子高齢化、単身世帯の増加など家庭状況も大きく変化し、個人のライフコースが多様化している。再度、家族・家庭生活とともに社会の課題について考え、より充実した家庭生活を送るための、家庭管理の在り方について解説する。また、持続可能な生活の創造と生活課題を解決しようとする力を育成し、将来、自分自身の生活をどのように営んでいくか理解を促す。									
授業の到達目標		①家族・家庭生活の機能について説明ができる。 ②生活管理・生活経営について説明ができる。 ③現代の生活課題をしっかりと捉え、問題意識を身に付ける。									
単位認定の要件		到達目標の①②③の合計が60点以上。									
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容								
		1	ガイダンス 授業概要 予習:(0分) 復習:(180分) 授業目標の確認。新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。								
		2	家庭生活の機能 予習:(0分) 復習:(180分) 生活とはなにかを自身の言葉でまとめる。								
		3	家族の変容と家族の課題 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自身の意見をまとめる。								
		4	ライフサイクルの変化と生活設計 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 生活設計を立てる。								
		5	衣・食・住生活の管理 予習:(90分) 自身の生活実態を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自身の意見をまとめる。								
		6	生活課題(衣・食・住) 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。								
		7	生活の中のジェンダー 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。								
		8	消費者教育[ゲスト講師:金融トラブル等] 予習:(90分) 授業目標を確認する。 復習:(90分) 生活を振り返り、自身の課題をまとめる。								
		9	生活課題(消費者教育) 予習:(0分) 復習:(180分) 他者の意見をもとに自身の課題と解決策をまとめる。								
		10	持続可能な生活と社会 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自身の意見をまとめる。								
		11	生活課題(持続可能な生活と社会) 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。								
		12	生活時間とアンバインドワーク 予習:(90分) 1週間分の生活時間を記録する。 復習:(90分) これまでの授業内容を振り返る。								
		13	働き方と家庭生活[ゲスト講師:キャリア支援教育] 予習:(60分) 授業目標を確認する。 復習:(120分) 生活を振り返り、自身の課題をまとめる。								
		14	将来の働き方と暮らし方、ジェンダーについて 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。								
		15	これまでの授業の確認とまとめ 予習:(180分) これまでの授業内容を振り返る。 復習:(0分)								
教科書・教材		講義内で適時資料等を提示。									
参考書・参考文献等		特になし。									
履修上の注意等		・授業計画(順序)は変更される場合がある。 ・家庭生活に関心をもち、自分の考えや意見が言えるようにする。									
実務経験との関連		実務経験の有無	無								

【2232】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
被服学			講義	葛西美樹	1年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2						期末試験 30 有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	<<知識・理解>> 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		<<汎用的技能>> コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				<<態度・志向性>> 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—		—	○	○	○
当該科目のキーワード	<<知識・理解>> 快適な衣生活の基礎的学習		<<汎用的技能>> 衣生活の課題への関心と解決				<<態度・志向性>> 持続可能な社会を築く一員であることの自覚				期末試験は試験後に正答を提示する。授業内小テスト、提出物、活動は授業内でコメントする。				
授業概要	衣服の起源や役割、安全性、機能性など、ヒトが生理的、心理的、物理的に調和された快適な衣生活を送るための基礎的事項を解説する。特に生涯を通して健康で安全に生活するために、ライフステージの特徴を理解し適切な衣服の選択の重要性について理解を促す。また、多様化の進む複雑な現代の衣生活に目を向け、真に豊かで、合理的な衣生活の構築を考えさせる。									グループワーク					
授業の到達目標	① 衣服の機能を知る。 ② 衣服素材の種類や特徴について知る。 ③ 様々な環境に応じて適切に衣服を選択し、管理できる実践力、応用力を身につける。									アクティブラーニングの有無(内容) 有					
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	授業概要、到達目標など 予習:(20分) シラバスを確認する。 復習:(160分) 授業内容を振り返る。													
	2	衣服と生活 1. 衣服の機能 予習:(90分) 小・中・高で学習した衣服の機能について確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	3	衣服と生活 2. 衣服と繊維素材の起源、衣服の変遷 予習:(90分) 自身が知っている繊維素材についてまとめる。 復習:(90分) 授業内容を振り返り、衣服の変遷と構成の関係を理解する。													
	4	衣服と素材 1. 繊維 予習:(0分) 復習:(180分) 繊維の種類と特徴について覚える。(小テストの予定あり)													
	5	衣服と素材 2. 糸 3. 布 予習:(0分) 復習:(180分) 糸標本・三原組織の標本を完成させる。													
	6	現代生活と衣服 予習:(90分) トレンドファッションについて雑誌や広告を見る。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	7	衣服と印象(色彩とデザイン) 予習:(90分) 自分の好きな色が持つイメージについて調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	8	衣服素材の性能 予習:(90分) 自身が知っている衣服素材の性能についてその意味を調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	9	衣服素材と季節 予習:(90分) 季節と関係のある性能について調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	10	衣服の管理 予習:(90分) 自身の衣服の管理方法について考える。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	11	衣服と表示 予習:(90分) 自身の衣服のタグの写真を撮る。 復習:(90分) 繊維に応じた衣服の管理方法についてレポートにまとめる。													
	12	衣服と安全性 予習:(40分) 子ども服の安全性について、指定した動画を視聴する。 復習:(140分) 授業内容を振り返る。													
	13	ライフステージに応じた衣服の選択 予習:(90分) 高齢者の身体的特徴について調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	14	衣服と社会環境 予習:(90分) 自身の衣生活を振り返る。 復習:(90分) 授業内容を振り返り、課題を完結する。													
	15	持続可能な社会を目指した衣生活 予習:(90分) SDGsと衣服について調べる。 復習:(90分) 衣服が直接または間接的に社会環境に及ぼす影響について考え、まとめる。													
教科書・教材	特になし 各テーマごとのプリントを配布する。														
参考書・参考文献等	特になし														
履修上の注意等	衣生活の課題を見つけ解決するための方策を考えるなど、衣服に興味をもち、その理解に努めることを期待する。発表や演習など、グループワークを行なうこともある。														
実務経験との関連	実務経験の有無	無													

【2309】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
生活			演習	齋藤昭	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1	○				期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 40 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 無 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 生活科の目標・内容 幼児教育との接続		≪汎用的技能≫ 双方向性の伝達と表現			≪態度・志向性≫ 学び合う態度			期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。	
授業概要	文部科学省発行の「小学校学習指導要領解説(生活編)」をテキストとして使用し、生活科の学習内容を実際に体験していく中で、生活科の目標、内容の理解および指導計画の作成等、生活科という教科の全体像、「主体的・対話的で深い学び」という視点から生活科の授業づくり、幼児教育と小学校の円滑な接続を行うスタートカリキュラムの内容、生活科を核とした教科等横断的な指導の仕方などを、グループディスカッションなどで考えさせた上で解説していく。								グループディスカッション、グループワーク	
授業の到達目標	①生活科の目標・内容・指導法を理解する。 ②生活科の授業づくりを「主体的・対話的で深い学び」という観点で考えていく。 ③スタートカリキュラムの内容と指導法を理解する。 ④生活科を核とした教科等横断的な学習のあり方を考えていく。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	生活科とは 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	2	生活科の授業づくり 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	3	スタートカリキュラムとは 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	4	「内容(7)動植物の飼育栽培」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	5	「内容(5)季節の変化と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	6	「内容(4)公共物・公共施設」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	7	「内容(3)地域と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	8	「内容(1)学校と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	9	「内容(2)家庭と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	10	「内容(8)生活や出来事の伝え合い」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	11	「内容(6)自然と物を使った遊び」の内容と指導法1(物を使ったおもちゃづくり) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	12	「内容(6)自然と物を使った遊び」の内容と指導法2(グループで運営するゲームランド) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	13	「内容(9)自分の成長」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	14	生活科学習の「指導と評価の一体化」・生活科と各教科等との関連 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	15	これからの生活科学習 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(生活編)									
参考書・参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 生活) 国立教育政策研究所教育課程研究センター									
履修上の注意等	生活科の学習内容を実際に体験していく中で内容理解と指導法について考えていきます。講義内容は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して自分の考えや疑問点をまとめてから講義に臨んでください。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、実際に学習内容を体験していただくことを大事にし、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。							

[2310] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
音楽 I			演習	一戸智之・諏訪才子	1年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1	○				期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 80 有 授業内提出物 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	≪知識・理解≫ 音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法		≪汎用的技能≫ 歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能			≪態度・志向性≫ 音楽に対する感性、音楽を愛好する心情				実技試験は全員による演奏会形式で実施し、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別的指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。筆記試験は採点し返却する。
	≪知識・理解≫ 音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法		≪汎用的技能≫ 歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能			≪態度・志向性≫ 音楽に対する感性、音楽を愛好する心情				アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪知識・理解≫ 音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法		≪汎用的技能≫ 歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能			≪態度・志向性≫ 音楽に対する感性、音楽を愛好する心情				グループワーク、グループディスカッション、グループ発表
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法		≪汎用的技能≫ 歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能			≪態度・志向性≫ 音楽に対する感性、音楽を愛好する心情				アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	小学校音楽科の指導の根幹となる読譜能力の定着を図るための指導理論を概説し、実践演習を通じて歌唱、ピアノ伴奏、弾き歌いの技能を体系的に習得させる。初等教育の実践を視野に入れ、楽曲構造の分析や曲想の解釈に立脚した教材研究の方法を提示するとともに、具体的な導入方法と留意点を詳述する。児童の感性を喚起する展開案を相互に検討・評価する活動を通じ、実践的な指導デザイン力の向上を支援する。									
授業の到達目標	①音楽活動の基盤となる読譜能力を確かなものとし、歌唱、ピアノ伴奏、弾き歌いにおける実践的スキルを体系的に習得している。 ②初等音楽教育の基盤となる音楽理論を理解し、その知見を歌唱や演奏へと応用することで、論理的根拠に基づいた音楽表現を実践できる。 ③歌唱・鑑賞教材における楽曲構造および音楽的特質を分析的に把握し、教育現場におけるその教育学的価値と意義について、論理的に説明できる。 ④表現・鑑賞の活動を通じて音楽的な感性を養い、音楽の持つ多様な価値を多角的に捉えながら、主体的・創造的に探究する態度を修得している。									
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	歌唱・弾き歌い: コールユーブンゲン巻1 第1章～7章 他 音楽理論: 楽譜の意味(基礎)(担当: 諏訪) 予習: (20分) テキストの楽典(楽譜の基礎)について、下読みする。 復習: (60分) 課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。								
	2	歌唱・弾き歌い: 「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」の読譜と歌唱 音楽理論: 楽譜の意味(応用)(担当: 一戸) 予習: (60分) 五線譜表の読み方、音符と休符の長さについて理解を深める。 復習: (60分) 課題曲の旋律と伴奏譜の読譜をし、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。								
	3	歌唱・弾き歌い実践演習: 「コールユーブンゲン」「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」他 (担当: 一戸、諏訪) 予習: (60分) 課題曲についてグループで互いの歌声や伴奏を聴いて、声を含ませて歌う練習をする。 復習: (60分) 課題曲についてグループで呼吸及び発音の仕方に気を付けながら歌唱・ピアノ練習をする。								
	4	歌唱・弾き歌い: コールユーブンゲン巻1 第8章～13章 他 音楽理論: 音名と階名(基礎)(担当: 諏訪) 予習: (60分) 課題曲の読譜をし、歌唱(階名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習: (60分) 課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。								
	5	歌唱・弾き歌い: 「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」グループ発表 音楽理論: 音名と階名(応用)(担当: 一戸) 予習: (60分) 課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながら練習をする。 復習: (60分) 各グループで本時のグループ発表の振り返り(良かった点や改善すべき点等の確認)を行う。								
	6	歌唱・弾き歌い実践演習: 「コールユーブンゲン」「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」他 個人発表 (担当: 一戸、諏訪) 予習: (90分) 課題曲のこれまでで学修したポイントを整理し、独唱及び弾き歌い(ピアノを弾きながら歌う)の練習をする。 復習: (60分) 各グループで本時の個人発表の振り返りを行う。								
	7	歌唱・弾き歌い: コールユーブンゲン巻1 第14章～20章 他 音楽理論: 音符の長さ、リズムと拍子(基礎)(担当: 諏訪) 予習: (60分) 課題曲の読譜をし、歌唱(階名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習: (60分) 課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。								
	8	歌唱・弾き歌い: 「春の小川」「このぼり」「たなばたさま」の読譜と歌唱 音楽理論: 音符の長さ、リズムと拍子(応用)(担当: 一戸) 予習: (60分) 課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながら練習をする。 復習: (60分) 課題曲の旋律と伴奏譜の読譜をし、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。								
	9	歌唱・弾き歌い実践演習: 「コールユーブンゲン」「春の小川」「このぼり」「たなばたさま」他 グループ発表 (担当: 一戸、諏訪) 予習: (60分) 課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながら歌唱・ピアノ練習をする。 復習: (60分) 各グループで本時のグループ発表の振り返りを行う。								
	10	音楽鑑賞: 楽曲の総合理解(ICT機器を用いた動画鑑賞) (担当: 一戸、諏訪) 予習: (60分) 音楽を形づくっている要素及び音符、休符、記号や用語について各自、確認・整理する。 復習: (60分) レポート課題に取り組む。								
	11	歌唱・弾き歌い: コールユーブンゲン巻1 第21章～26章 他 音楽理論: 音階と調(基礎)(担当: 諏訪) 予習: (60分) 課題曲の読譜をし、歌唱(階名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習: (60分) 課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。								
	12	歌唱・弾き歌い: 「春の小川」「このぼり」「たなばたさま」個人発表 音楽理論: 音階と調(応用)(担当: 一戸) 予習: (90分) 課題曲のこれまでで学修したポイントを整理し、弾き歌いの練習をする。 復習: (60分) 各グループで本時の個人発表の振り返りを行う。								
	13	歌唱・弾き歌い実践演習: 「試験課題曲」他 (担当: 一戸、諏訪) 予習: (60分) これまで学修した歌唱法・ピアノ伴奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲の練習をする。 復習: (60分) 各グループで試験を想定したリハーサルを行い、グループディスカッションを通じて歌唱・ピアノ伴奏表現力の向上を目指す。								
	14	コールユーブンゲン巻1のまとめ: 個人発表 音楽理論のまとめ: 小テスト (担当: 一戸、諏訪) 予習: (90分) 試験課題曲を暗譜し、総合的に仕上げる。既習の音楽理論について総合的に確認する。 復習: (60分) 個人発表を振り返り、改善点を中心に練習する。音楽理論の小テストを自己採点する。								
	15	弾き歌い: 個人発表 (担当: 一戸、諏訪) 予習: (90分) 試験課題曲を練習し、総合的に仕上げる。 復習: (60分) 個人発表を振り返り、改善点を洗い出し、後期に向けて各自、理論と実践の両面から学修目標を設定し練習計画を立てる。								
教科書・教材	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版」「コールユーブンゲン巻1」「最新 学生の音楽通論」(以上、音楽之友社)「五線譜ノート」(各自用意してください)									
参考書・参考文献等	「小学校学習指導要領 音楽」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」									
履修上の注意等	授業内で配布する楽譜や資料等は大切に保管し、次年度以降の学外実習等に役立ててください。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2311】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
音楽Ⅱ			演習	一戸智之・諏訪才子	1年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
1	15	30		1	○				期末試験		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート		
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー 論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク リーダーシップ	倫理観 社会的責任 生涯学習力	授業内小テスト 80 有 授業内提出物 授業内活動 20 有 その他	
	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	計 100
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法、リコーダーの奏法							実技試験は全員による演奏会形式で実施し、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別的指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。筆記試験は採点し返却する。	
	《汎用的技能》		歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能								
	《態度・志向性》		音楽に対する感性、音楽を愛好する心情								アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	小学校音楽科の指導の根幹となる読譜能力の定着を図るための指導理論を概説し、実践演習を通じて歌唱、ピアノ伴奏、弾き歌いおよびリコーダーの技能を体系的に習得させる。初等教育の実践を視野に入れ、楽曲構造の分析や曲想の解釈に立脚した教材研究の方法を提示するとともに、具体的な導入方法と留意点を詳述する。児童の感性を喚起する展開案を相互に検討・評価する活動を通じ、実践的な指導デザイン力の向上を支援する。										
授業の到達目標	①音楽活動の基盤となる読譜能力を確かなものとし、歌唱、ピアノ伴奏、弾き歌いおよびリコーダーにおける実践的スキルを体系的に習得している。 ②初等音楽教育の基盤となる音楽理論を理解し、その知見を歌唱や演奏へと応用することで、論理的根拠に基づいた音楽表現を実践できる。 ③歌唱・鑑賞教材における楽曲構造および音楽的特質を分析的に把握し、教育現場におけるその教育学的価値と意義について、論理的に説明できる。 ④表現・鑑賞の活動を通じて音楽的な感性を養い、音楽の持つ多様な価値を多角的に捉えながら、主体的・創造的に探究する態度を修得している。										
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	歌唱・弾き歌い：コールユープンゲン巻1 第27章～30章他 音楽理論：5度圏(基礎) (担当：諏訪) 予習：(20分)テキストの楽典(5度圏)について、下読みする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。									
	2	歌唱・弾き歌い：「虫のこえ」とんぼのめがね「タやけこやけ」「どんぐりころころ」の読譜と歌唱 音楽理論：5度圏(応用)(担当：一戸) 予習：(60分)度圏について実際にピアノを弾きながら確認し、理解を深める。 復習：(60分)課題曲の旋律と伴奏譜の読譜をし、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。									
	3	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユープンゲン」虫のこえ「とんぼのめがね」「タやけこやけ」「どんぐりころころ」グループ発表。(担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながらグループ練習をする。 復習：(60分)各グループで本時のグループ発表の振り返りを行う。									
	4	歌唱・弾き歌い：コールユープンゲン巻1 第31章他 音楽理論：近親調、さまざまな記号(基礎) (担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(暗唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。									
	5	鍵盤ハーモニカの奏法 音楽理論：近親調、さまざまな記号(応用) (担当：一戸) 予習：(60分)鍵盤ハーモニカの奏法について確認・理解する。 復習：(60分)鍵盤ハーモニカの奏法のポイントを整理し、課題曲の豊かな表現力の向上を目指す。									
	6	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユープンゲン」虫のこえ「とんぼのめがね」「タやけこやけ」「どんぐりころころ」個人発表(応用) (担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)課題曲のこれまで学修したポイントを整理し、弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)各グループで本時の個人発表の振り返りを行う。									
	7	歌唱・弾き歌い：コールユープンゲン巻1 第32章～34章他 音楽理論：音程とは、音程の種類、音程の判別方法(基礎) (担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(暗唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。									
	8	リコーダーの奏法 音楽理論：音程とは、音程の種類、音程の判別方法(応用) (担当：一戸) 予習：(60分)リコーダーの奏法について確認・理解する。 復習：(60分)リコーダーの奏法のポイントを整理し、課題曲の豊かな表現力の向上を目指す。									
	9	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユープンゲン」ふるさと「もみじ」「おぼろ月夜」の読譜と歌唱 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)課題曲の音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながらグループ練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイントを整理し、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。									
	10	音楽鑑賞：楽曲の総合理解(ICT機器を用いた動画鑑賞) (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)音楽を形づくっている要素及び音符、休符、記号や用語について各自、確認・整理する。 復習：(60分)レポート課題に取り組む。									
	11	歌唱・弾き歌い：コールユープンゲン巻1 第35章～36章他 音楽理論：コードネームとI、IV、V7の和音(基礎) (担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(暗唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。									
	12	歌唱・弾き歌い：「ふるさと」「もみじ」「おぼろ月夜」の読譜と歌唱 音楽理論：コードネームとI、IV、V7の和音(応用)(担当：一戸) 予習：(90分)課題曲についてグループワークを行い、どのように演奏するかについて思いや意図をもちながら練習する。 復習：(60分)各グループで本時のグループ発表の振り返りを行う。									
	13	歌唱・弾き歌い実践演習：「試験課題曲」他 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)これまで学修した歌唱法、ピアノ伴奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲の練習をする。 復習：(60分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、グループディスカッションを通じて歌唱・ピアノ伴奏表現力の向上を目指す。									
	14	コールユープンゲン巻1のまとめ：個人発表 音楽理論のまとめ：小テスト (担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)試験課題曲を暗譜し、総合的に仕上げる。既習の音楽理論について総合的に確認する。 復習：(60分)個人発表を振り返り、改善点を中心に練習する。音楽理論の小テストを自己採点する。									
	15	弾き歌い：個人発表 (担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)試験課題曲を練習し、総合的に仕上げる。 復習：(60分)個人発表を振り返り、改善点を洗い出し、2年次に向けて各自、理論と実践の両面から学修目標を設定し練習計画を立てる。									
教科書・教材	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版」「コールユープンゲン巻1」「最新 学生の音楽通論」(以上、音楽之友社)「五線譜ノート」(各自用意してください)										
参考書・参考文献等	「小学校学習指導要領 音楽」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」										
履修上の注意等	授業内で配布する楽譜や資料等は大切に保管し、将来の学外実習等に役立ててください。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2503】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
子どもの人間関係			演習	吉田裕美子	1年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無									
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士										
1	15	30		1				○	○	期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力 を総合的に 自ら設定し 自ら課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシ ー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リ ー ダ ー シ ッ プ		倫 理 観	社 会 的 責 任	生 涯 学 習 力	授業内小テスト	70	有		
	○	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	授業内提出物	20	有
																	授業内活動	10	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		各年齢段階の人間関係の理解								ノートやレポートなどの提出物にコメントをつけて返却し、授業中に解説する。								
	《汎用的技能》		事例検討、ロールプレイ、保育カンファレンス								アクティブラーニングの有無 (内容)			有					
	《態度・志向性》		グループワーク																
授業概要	実践場面における具体的な事例を通して、乳幼児期にとっての人の関わりの意味について個人の考えをまとめたり、グループで討議 する中で探っていく。										グループディスカッション、グループ ワーク								
授業の 到達目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。乳幼児期における人の関わりの発達を踏まえ、幼稚園や保育所における人間関係の大 切さや、保育者の援助について理解する。 子どもの人間関係を指導するスキルを向上させるために、 ①乳幼児の人間関係の発達プロセスについて理解できる。 ②グループワークに参加し、人間関係の指導に関する意見交換を行い、他者の考えを知る。 ③他者との意見交換を通じて、様々な子どもの人間関係を支援・対応するための着眼点を理解する。																		
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること																		
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容																	
	1	保育の基本と人との関わり 予習:(30分) 領域「人間関係」のねらいと内容についての理解 復習:(15分) 子どもを取り巻く社会的背景について今求められていること																	
	2	領域「人間関係」のねらいと内容 予習:(30分) 自己紹介カードについて自己分析、人間関係についての悩み、質問その他について 復習:(15分) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本と目標について																	
	3	乳幼児期の子どもの人間関係の発達(「0歳～2歳」) 予習:(30分) 発達とは何か 復習:(15分) DVD鑑賞「言葉を育てる 語りかけ育児」から何を学んだか、望ましい関わり方、望ましくない関わり方とは何か																	
	4	自立心の芽生えと人間関係—3歳児の育ちと人との関わり— 予習:(30分) 3歳児の発達の特徴、遊びの特徴について 復習:(15分) 事例を通して3歳児の関わり方について学ぶ																	
	5	自立心の芽生えと人間関係—4歳児の育ちと人との関わり— 予習:(30分) 4歳児の発達の特徴、遊びの特徴について 復習:(15分) 事例を通して4歳児の関わり方について学ぶ																	
	6	自立心の芽生えと人間関係—5歳児の育ちと人との関わり— 予習:(30分) 5歳児の発達の特徴、遊びの特徴について 復習:(15分) 事例を通して5歳児の関わり方について学ぶ																	
	7	遊びの中での人との関わり(1)「遊びの意義と重要性」 予習:(30分) 遊びの意味と重要性を探る～自分が子どもの頃に遊んだことを思い出して～ 復習:(15分) 自分が好きだった遊び、自分に影響を与えた人や物、自分の育ちや性格から、自分にどのような影響を与えたか																	
	8	遊びの中での人との関わり(2)「遊びを読み取る」 予習:(30分) 子どもの遊びの場面を読み取り、想像して、イメージして、関係性をみる 復習:(15分) テーマ「遊びとは何か」、「遊びの始まりとは」、「見立て遊びとは」について考える																	
	9	遊びの中での人との関わり(3)「トラブルを通して成長する」(「協同する経験を重ねる」) 予習:(30分) 「絵カードを使ってこぼれ遊びしよう」「いすとりゲームをしよう」 復習:(15分) 集団での遊びについて、遊びのポイントや関わり方について考える																	
	10	遊びの中での人との関わり(4)「トラブルを通して成長する」 予習:(30分) いざこざやけんかの発生とその意味 復習:(15分) いざこざやけんかなどのトラブルを通して成長する力とは																	
	11	人との関わりが難しい子どもへの支援(「特別なニーズをもつ子ども」) 予習:(30分) 「人と関われない、関わらない子どもたち」についてどう関わるか 復習:(15分) 保育の中で気になる子どもたちとどう関わるのか、保育者同士の人間関係について理解する																	
	12	園・家庭・地域の生活と人との関わり 予習:(30分) 地域子育て支援とは何か 復習:(15分) 園・家庭・地域との連携について																	
	13	小学校生活と領域「人間関係」 予習:(30分) 保育所・幼稚園での遊び、小学校へのつながりについて 復習:(15分) それぞれの教育・保育指針や目標を理解する																	
	14	人間関係をめぐる諸問題 予習:(30分) 現代的な諸課題に対応した保育と人間関係 復習:(15分) 子どもの多様さと保育、それぞれの文化の多様性を尊重する、ジェンダーフリーの保育を目指す																	
	15	まとめ 予習:(30分) 人間関係を築くために 復習:(15分) 筆記試験																	
教科書・教材	特になし																		
参考書・ 参考文献等	内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育要領・保育要領解説」(フレーベル館)																		
履修上の 注意等	グループワークに積極的に参加し、他者の意見を聞き自分の意見をまとめること。																		
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無																	

【2701】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科																	
教職の理解			講義		齋藤雅俊・小林琢哉・安川由貴子・新田史暁		1年	前期	こども発達学科																	
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無																
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士																	
2	15	30			2		○	○																		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、その 課題を解決 する能力》														
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末試験	期末レポート	授業内小テスト	授業内提出物	80	無	授業内活動	20	無	その他			
	○	—	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○													
当該科目の キーワード	《知識・理解》		生きる力										各担当者が行う。													
	《汎用的技能》		主体的対話的で深い学び										アクティブラーニングの有無 (内容)		有											
	《態度・志向性》		学び続ける教師、チーム学校																							
授業概要	教育のあり方、及び教員としての意識の向上を図るためには、教育の理論と実践を関係づけ、さらに生き生きとした生の教育現場への理解が必要である。本講義では教職の意義及び教員の役割、並びに教員の職務などについて、各人の切り口で、それぞれ実際面での工夫や苦心も交えて講じる中で、教職の現実についての理解を深めていく。また、「チーム学校」として、専門性に基づく体制の在り方と機能的連携、教員一人ひとりの力の発揮とともに校内外の連携についても触れる。特に、最終回では全体を総括して、社会における教育の重要性、教職に対する期待と心構えを説く。																									
授業の到達目標	教職に対する心構えを培う。教職を目指す学生として、教職の意義、教員の役割、教員の職務、学校現場での教員、求められる教師像、教職への進路選択に指標となる内容等について理解する。																									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																								
	1	オリエンテーション:「教職」とは何か、教師の役割と職責について(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。																								
	2	現在の学校教育(1):子どもの個性・可能性を引き出し、伸ばす教師とは(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分) 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。																								
	3	現在の学校教育(2):確かな学力を育むために(小林 琢哉) 予習:(90分)学びの内容を詳しく、詳細の方法について調べておく。 復習:(90分) これまでの自分の学習経験と授業の内容を比較しながら、確かな学力を育むためには何が必要かを考察する。																								
	4	現在の学校教育(3):学び続ける教師をめざして(小林 琢哉) 予習:(90分)教師としての学びとは何か、調べておく。 復習:(90分)教師が学び成長し続けるためには何が必要か、考察をまとめる。																								
	5	現在の学校教育(4):子どもに寄り添う教育、生活指導・生徒指導のあり方とは(新田史暁) 予習:(90分)生徒指導とは何かを調べる。生徒指導要領の基礎の箇所を読んでおくこと。 復習:(90分)生徒指導要領を改めて読み、生徒指導の定義、目的について理解を深める。																								
	6	学校間の連携(1):生活指導・生徒指導における幼小中高の連携について(新田史暁) 予習:(90分)幼小中高の各段階の発達の特性について調べる。 復習:(90分)幼小中高で生じる問題と連携の具体的な取り組みについて理解を深める。																								
	7	学校間の連携(2):発達障害と生徒指導について(新田史暁) 予習:(90分)幼小中高で生じる発達障害特性を抱える児童・生徒の困り感について調べる。 復習:(90分)発達障害特性を抱える児童・生徒への支援方法について自分の考えをまとめる。																								
	8	家庭との連携(1):保護者との信頼関係の構築(新田史暁) 予習:(90分)保護者と教員との関わりにはどのような場面があるか調べる。 復習:(90分)保護者と信頼関係を構築する方法について理解を深め、自分自身のコミュニケーション上の課題を考える。																								
	9	家庭との連携(2):不適応行動における連携の実践(新田史暁) 予習:(90分)不登校支援における保護者との連携方法について調べる。 復習:(90分)不登校支援における考え方、保護者の協力を得るために必要な点について自分の考えをまとめる。																								
	10	地域社会との連携(1):生涯学習社会における学校、家庭、地域社会との連携、協働に関わる施策や施設について (安川由貴子) 予習:(90分)地域社会との連携、協働がなぜ必要なのかを考え、自身の経験を振り返る。 復習:(90分)地域社会との連携、協働の必要性や意義について、自分の考えをまとめる。																								
	11	地域社会との連携(2):地域社会に関わった学校にむけて(コミュニティスクール、地域学校協働活動の実践)(安川由貴子) 予習:(90分)地域社会との連携、協働の実践例について調べる。 復習:(90分)学校と地域社会との連携、協働のあり方や課題について、自分の考えをまとめる。																								
	12	教育現場における現代的課題(1):ICTを活用した教育について(小林 琢哉) 予習:(90分)現代の教育でICTがどのように活用されているか調べておく。 復習:(90分)これからの教育におけるICT活用の意味について考察する。																								
	13	教育現場における現代的課題(2):キャリア教育と人間形成(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。																								
	14	教育現場における現代的課題(3):多様な教育機会の保障(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。																								
15	まとめ:現代の教員に求められる資質・能力と教職の道への挑戦(齋藤 雅俊) 予習:なし 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。																									
教科書・教材	オムニバス方式の授業のため、毎回担当者が資料等を用意する。																									
参考書・参考文献等	特定の参考書は使用しないが、「教職とは何か」と言う問いに関わる本を自主的に探して読むこと。																									
履修上の注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆、他人のコメントペーパーを参考にする等)の他、成績に関わる全ての不正については単位認定を不可とする。																									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	(新田)学校や心理相談室でカウンセラーを勤めた経験から、児童生徒の発達の特性を踏まえた問題行動、支援、保護者との連携方法について講義する。																							

【2804】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
保育者論			講義	安川由貴子	1年	後期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2				○	期末試験	40	無						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					期末レポート	25	無				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》																
当該科目の キーワード	《知識・理解》		保育者に関する基本的知識の理解									期末レポート	20	有			
	《汎用的技能》		保育者としてのコミュニケーション力や思考力の向上									授業内提出物	15	有			
	《態度・志向性》		保育者としての姿勢や責任感									授業内活動	15	有			
授業概要	国家資格としての保育士の制度的な位置づけや、有資格者として要求されている保育者の役割と倫理、専門的な知識や技能についての理解を深めるため、解説やグループ討議を行う。また、保育者のさまざまな協働の内容や実務についての理解を深め、保育者の資質向上に向けた専門性の発達とキャリア形成について見通しをもてるようにするため、事例紹介も含め解説する。									その他							
授業の到達目標	1.保育者の役割と倫理について理解し考察できる。 2.保育士の制度的な位置づけを理解し説明できる。 3.保育士の専門性について理解し考察できる。 4.保育者の協働について理解し考察できる。 5.保育者の資質向上とキャリア形成について理解し見直しをもてる。											計	100				
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。											フィードバックの方法					
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンス、目指す保育者像について、保育士の仕事 予習:(90分)自分の目指す保育者像について、保育士の仕事について考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	2	保育者の役割と倫理①保育者の役割と職務内容 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	3	保育者の役割と倫理②保育者の倫理 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、今後の自らの保育者としての関わりについて考え、ミニレポートを作成すること。															
	4	保育士の制度的な位置づけ(児童福祉法における保育士) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	5	保育士の専門性①保育士の資質・能力 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	6	保育士の専門性②養護及び教育の一体的展開 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	7	保育士の専門性③家庭との連携と保護者に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	8	保育士の専門性④計画に基づく実践と省察・評価 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	9	保育士の専門性⑤保育士の質の向上 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	10	保育者の協働①保育における職員間の協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	11	保育者の協働②専門機関及び専門機関との連携・協働の内容 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	12	保育者の協働③専門機関及び専門機関との連携・協働の実務 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	13	保育者の協働④地域における連携・協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	14	保育者の資質向上とキャリア形成①資質向上に関する組織的取組 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
	15	保育者の資質向上とキャリア形成②保育者の専門性の発達とキャリア形成、保育者の組織とリーダーシップ 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。															
教科書・教材	レジュメ、資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針(平成29年告示)』フレーベル館。厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館。																
参考書・参考文献等	ミネルヴァ書房編集部編『保育小六法』ミネルヴァ書房。柏友霊峰監修、全国保育士会編『改訂2版 全国保育士会倫理綱領ガイドブック』全国社会福祉協議会、2018年他。授業内に適宜紹介します。																
履修上の注意等	知識を身に付けるだけでなく、自分がどのような保育士になりたいか、そのために何を学ぶ必要があるかという視点をもって受講すること。ミニ発表やグループワークの機会にも、積極的な参加を期待します。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

【2808】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
乳児保育 I			講義	高橋正行	1年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士					
2	15	30		2					○	期末試験 50 無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○		—	○	授業内小テスト
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		乳児保育の基礎知識								期末レポート			
	≪汎用的技能≫		乳児保育の援助								授業内小テスト	30	有	
	≪態度・志向性≫		乳児保育の役割と責任								授業内提出物	20	有	
授業概要	乳児保育の歴史、乳児の育つ環境の大切さ、乳児保育の果たす役割、乳児の発達保障、保護者の支援、地域社会の子育て支援等について詳述する。テキストに加え「保育所保育指針」を参考にして講義を行う。グループディスカッションを適宜取り入れながら理解を深めていく。										授業内活動	20	有	
											その他			
授業の到達目標	乳児保育の基本を習得するために、 ①乳児保育の意義、目的と役割が分かる。 ②乳児保育の内容や体制が分かる。 ③職員間の協働や関係機関との連携が分かる。										計	100		
											フィードバックの方法			
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										提出物は評価した後に返却する。授業では適宜演習課題を基にディスカッションを行い、都度評価や解説を加える。			
											アクティブラーニングの有無(内容)		有	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	乳児保育とは何か 予習:(90分) 乳児保育の意義と目的 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	2	「保育所保育指針」における乳児保育の理念と概念 予習:(90分) 小規模保育と家庭的保育について 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	3	乳児保育の歴史 予習:(90分) 乳児保育に関わる制度を理解する 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	4	乳児保育の基礎知識(1)「0歳児の発達の特徴、発達過程」 予習:(90分) 0歳児の発育・発達を踏まえた生活・遊びの援助の実際 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	5	乳児保育の基礎知識(2)「1歳以上3歳未満児の保育に関わるわらわら及び内容」 予習:(90分) 1～3歳児の発育・発達を踏まえた生活・遊びの援助の実際 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	6	乳児保育の基礎知識(3)「特別な配慮が必要な子どもへの支援」 予習:(90分) 子どもへの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮①心身の健康への配慮②安全への配慮③情緒の安定を図るための配慮 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	7	保育所・認定こども園における乳児保育(1)「保育所とは」「認定こども園とは」 予習:(90分) 保育所の役割とは、認定こども園の類型と特徴について 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	8	保育所・認定こども園における乳児保育(2)「保育所の生活活動」「幼保連携型認定こども園における生活活動」 予習:(90分) ティータイムプログラムについて 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	9	乳児院における乳児保育 予習:(90分) 乳児院における養育とは 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	10	家庭的保育等における乳児保育 予習:(90分) 家庭的保育事業とは 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	11	乳児保育が行われるその他の保育 予習:(90分) 「子ども・子育て支援新制度」における保育施設の位置づけ 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	12	子育て支援における乳児保育 予習:(90分) 保育所及び認定こども園における子育て支援に関する基本 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	13	保護者とのパートナーシップ 予習:(90分) 乳児保育における保護者支援とは 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	14	職員間・地域の関係機関との連携 予習:(90分) 職員間・地域の関係機関との連携 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
	15	乳児保育の現状と課題 予習:(90分) 乳児保育の現状と課題 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト												
教科書・教材		よくわかる！エクササイズ5 乳児保育 演習ブック[第2版]/ミネルヴァ書房/松本 峰雄監修 池田 りな、才郷 眞弓、土屋 由、堀 科												
参考書・参考文献等		基本保育シリーズ15 乳児保育 I・II / 中央法規出版 / 寺田 清美、大方 美香、塩谷 香 乳児保育 / 萌文書林 / 加藤 敏子 富永 由佳												
履修上の注意等		毎時間、乳幼児に関するニュースを紹介し合います。日頃からアンテナを高くして乳幼児に関する情報を収集しておくこと。												
実務経験との関連		実務経験の有無	無											

[9001] #N/A		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科									
介護等体験		実習		葛西美樹		1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士							
—						—			○					単位なし	100	無	
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目		≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力					≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
		○		—	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○			
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫			特別支援学級及び社会福祉施設の特徴、留意点								実習ノートはコメントをつけ、返却する(体験先でコメントをくれることもある)。 アクティブラーニングの有無(内容)				
		≪汎用的技能≫			障害者・高齢者に対する介護・介助・交流												
		≪態度・志向性≫			教職員や利用者との共働 教員としての資質向上											有	
授業概要		「義務教育(小・中)に従事する教員が、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する意識を深め、教員としての資質向上を図り、義務教育の充実を期する観点から、小学校、中学校の普通免許状の取得を希望する者に、障害者・高齢者に対する介護・介助・交流の体験を行うものである」という教育職員免許法特例法に基づき、青森県内の特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間の介護等体験実習を行なう。介護等体験に備えて、4回のガイダンスを実施する。ガイダンスでは、介護等体験の意義、心構え、事前に勉強しておくことなどを説明し、申し込みに必要な書類の準備やインターネットでの登録手続きなどを説明する。										実習のため有り。(レクリエーションの企画準備等)					
授業の到達目標		①障害者、高齢者に対する介護、介助、交流の方法を理解する。 ②生徒や施設の利用者とのふれあいを通して、教員として必要な基礎的知識・技能を習得する。															
単位認定の要件		体験先からいただく証明書2枚(特別支援学校1枚、社会福祉施設1枚)が教員免許申請の際、必要になる。															
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		内 容 ○介護等体験の意義を理解する。 ○学外実習における心構え、基本事項を理解する。 ・実習先への事前連絡と挨拶 ・実習ノートの記入方法 ・証明書の取扱い ・お礼状の書き方 ・スケジュール管理 ○県内の特別支援学校での実習における事前指導 ・特別支援学校の特徴や所在地を確認し、希望調査票に正しく記入し、提出する。 ・特別支援学校の配属決定を受け、申し込み書類を作成し提出する。 ・各実習校における具体的な諸注意(1週間前に事前連絡をすること、給食費、服装、通学方法など)を確認する。 ・複数名で実習に臨む学校は、連絡係を中心に連絡網を作成する。 ○社会福祉施設での実習における事前指導 ・社会福祉施設申し込みに関わるネットでの登録、検索・申し込みの手順や方法を理解し、入力作業をし、登録を完了する。(受付開始日に自分で申し込みできるようにしておく。) ・社会福祉施設配属決定を受け、施設利用者(高齢者、障害者)と接する際の留意点および介助(入浴、着替え、食事、車椅子の操作など)の具体的方法などを理解する。 ・各施設における具体的な諸注意(1週間前に事前連絡をすること、給食費、服装、検便の有無など)を確認する。 ・レクリエーションの企画の準備をする。 ・複数名で実習に臨む施設は、連絡係を中心に連絡網を作成する。 ○実習の事後指導 ・実習終了後、実習ノート・証明書・書類等を速やかに提出する。 【授業時間外学習の指示】 実習に行く前に特別支援学校や社会福祉施設の特徴や介助の留意点等を学習し、車椅子の使用方法も練習すること。															
教科書・教材		特になし															
参考書・参考文献等		特になし															
履修上の注意等		介護等体験を希望する人は必ずガイダンスに出席してください。															
実務経験との関連		実務経験の有無	無														